

2024年9月期 会社説明会資料

2024年11月



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

証券コード 7327

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

目次

主なポイント

.....	2
-------	---

2024年9月期決算

FG連結中間純利益	4
部門別 中間純利益の状況	5
FG連結増減要因	7
銀行部門	
銀行単体増減要因	8
貸出金残高	9
預金等残高	11
非金利収益分野	12
有価証券	13
経費	15
不良債権比率／ネット信用コスト	16
FG連結自己資本比率	17
経営統合によるシナジー	18
2025年3月期 業績予想	20

第三次中期経営計画

持続的な成長に向けた第四北越FGの取り組み	22
経営指標目標の変更	23
基本戦略Ⅰ グループ総合力の発揮	26
基本戦略Ⅱ 生産性向上の追求	32
基本戦略Ⅲ 人的資本価値の向上	35
基本戦略Ⅳ リスクマネジメントの深化	38
全戦略共通のテーマ TSUBASAアライアンスの深化	39

■ サステナビリティへの取り組み	41
第四北越FGのサステナビリティへの取り組み	42
第四北越FG 自社の取り組み	43
地域・お客さまの課題解決に向けた取り組み	44
■ 資本政策	46
株式分割の実施	47
株主還元方針の変更	48

Appendix

第三次中期経営計画	50
経営指標	53
2024年9月期決算 概要	55
貸出金利息・利回りの推移	57
預金等残高・預かり資産残高	58
非金利収益分野／経費	60
有価証券分野	61
不良債権比率／ネット信用コスト	63
資本配賦	64
自己資本比率	65
人的資本価値の向上に向けた研修プログラム	66
持続的成長を支えるガバナンス体制	67
政策保有株式の縮減に向けた取り組み	68
グループ各社の状況	69

2024年9月期 主なポイント



DAISHI HOKUETSU

Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

“飛躍のステージ”

第三次中期経営計画

(3rd Stage : 2024-2026年度)

2024年9月期

“飛躍のステージ”と位置付ける「第三次中期経営計画」の
初年度として順調なスタート

< FG連結中間純利益はFG設立以来の最高益を計上 >

FG連結中間純利益は、当初および上方修正後の業績予想をいずれも上回り、
かつ前年同期比でも増益

- ✓ 中間純利益としては、FG設立以来の最高益を計上

2025年3月期通期のFG連結当期純利益を250億円（当初比+20億円）へ上方修正
かつ第三次中期経営計画の最終年度目標を350億円（当初比+80億円）へ上方修正

- ✓ 第三次中期経営計画の順調な進捗などを踏まえた今後の見通しや、金融政策変更（マイナス金利解除・政策金利引き上げ等）による影響などを新たに織り込む



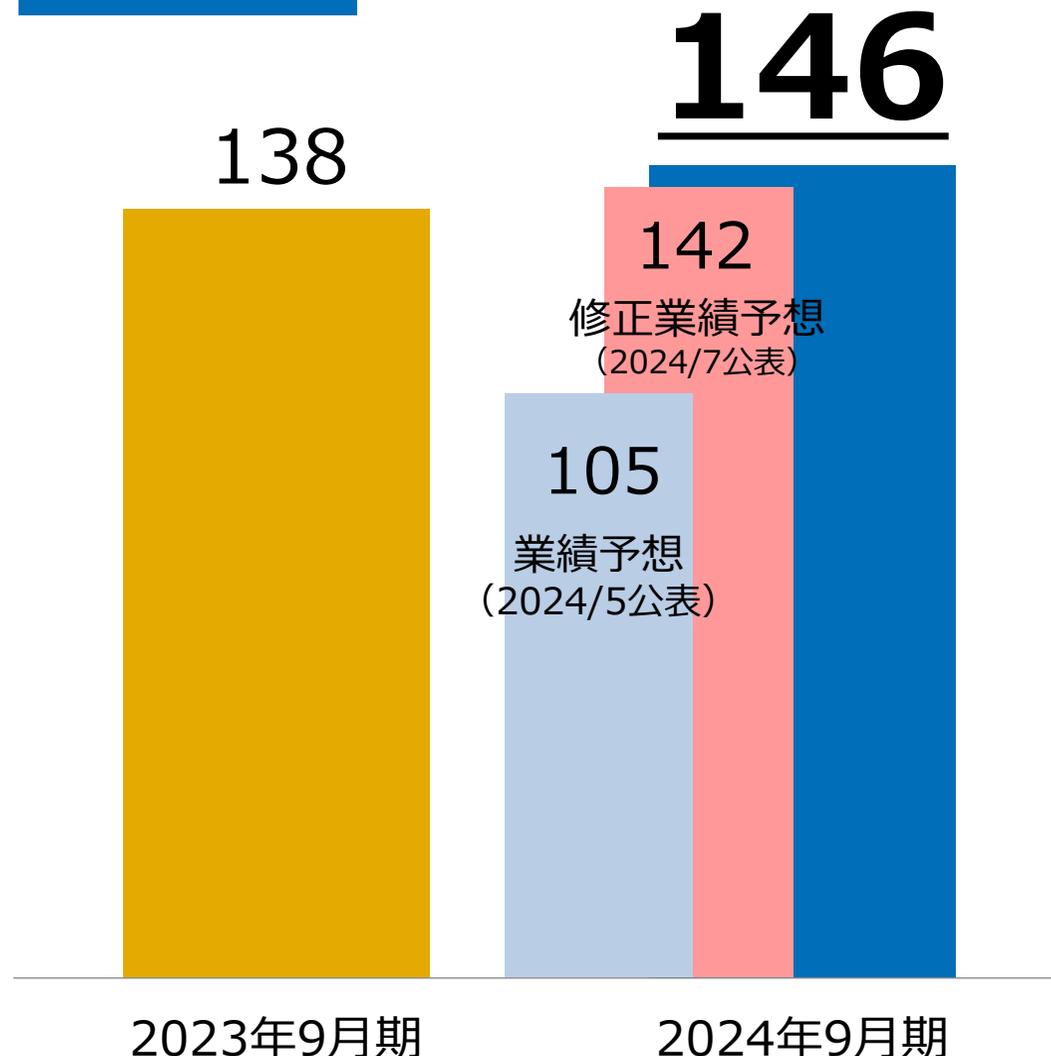
2025年3月期の中間配当の増配および期末配当予想の上方修正

- ✓ 株主還元方針を見直し、配当性向を35%程度から40%程度へ引き上げ

2024年9月期決算

FG連結中間純利益

FG連結 (億円)



前年同期比

+ 8億円
(+ 6.0%)

当初業績
予想比

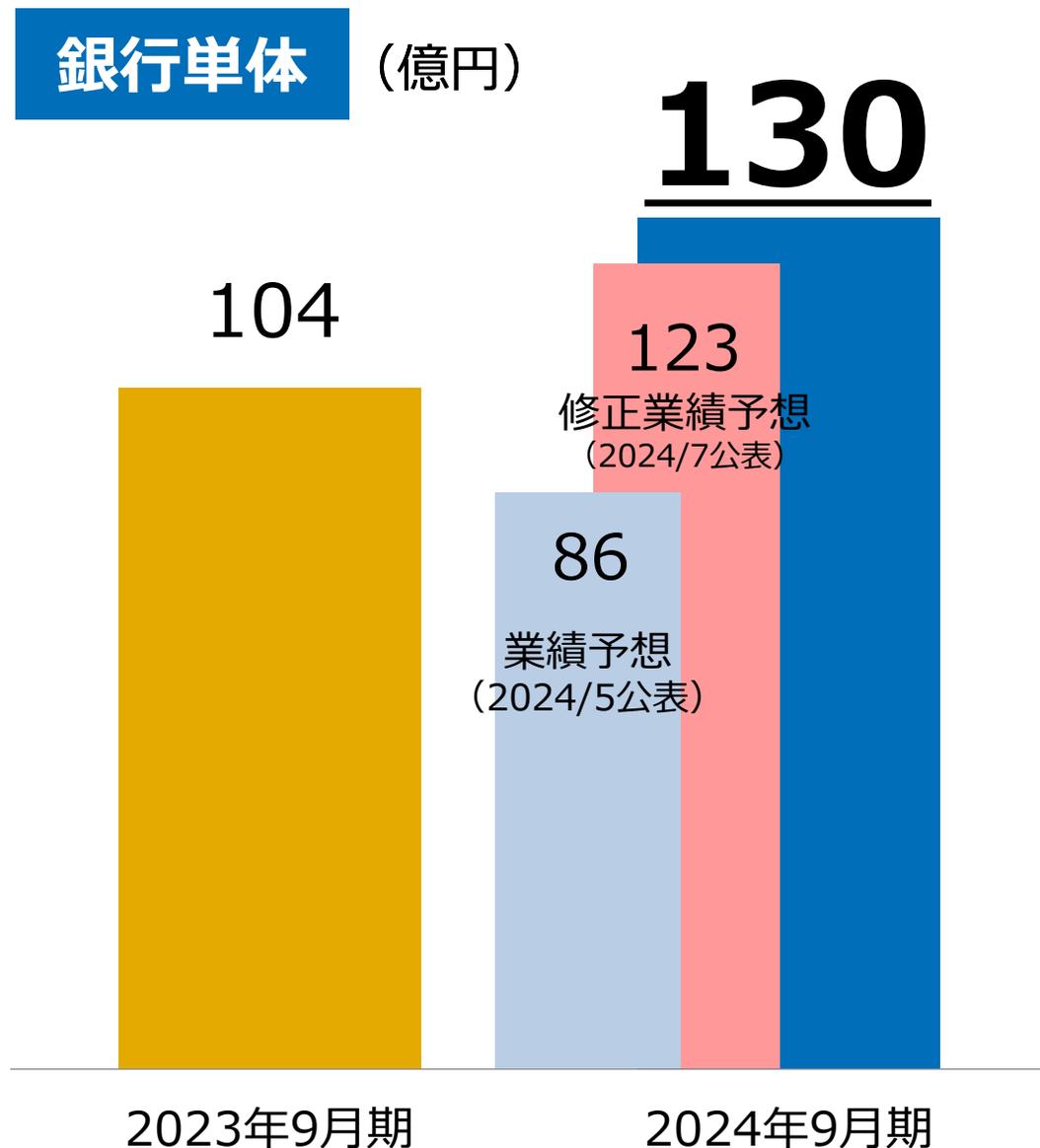
+ 41億円
(+ 39.5%)

修正業績
予想比

+ 4億円
(+ 3.1%)

部門別 中間純利益の状況

銀行単体 (億円)



前年同期比

+25億円
(+24.6%)

当初業績
予想比

+44億円
(+51.9%)

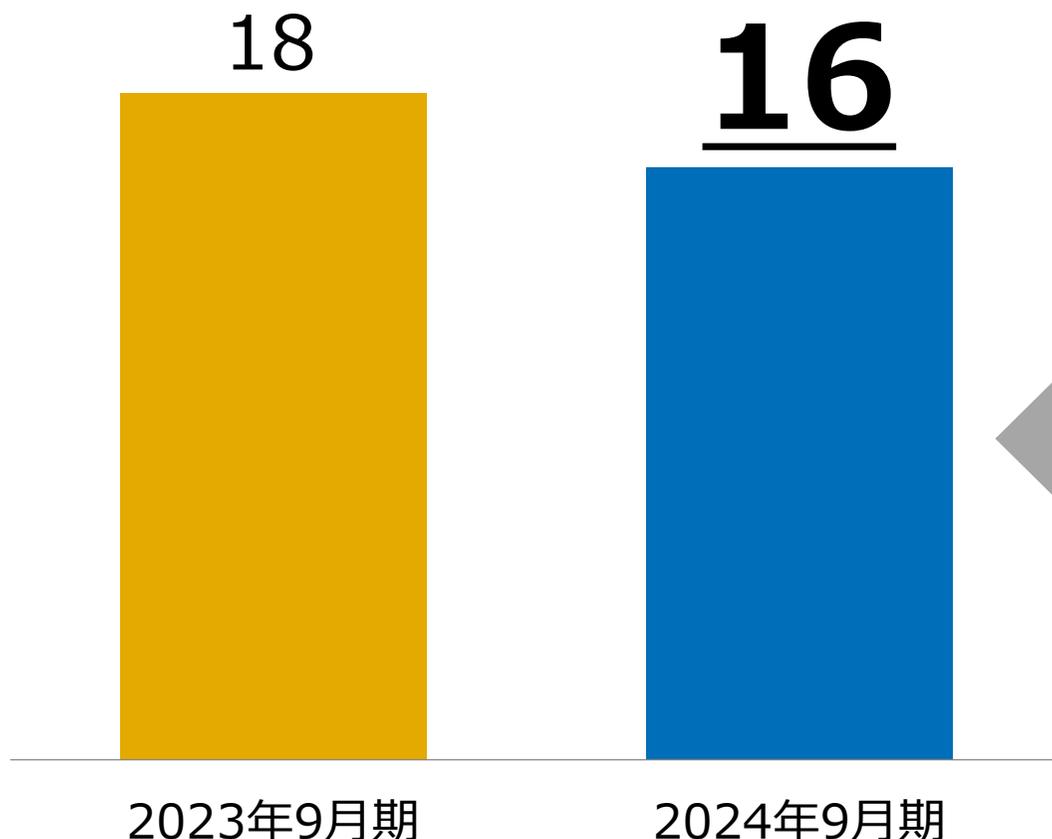
修正業績
予想比

+7億円
(+6.2%)

部門別 中間純利益の状況

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の
親会社株主に帰属する中間純利益の合計



前年同期比

▲ 1億円

(▲ 8.5%)

証券事業

前年同期比 + 0.8億円 (+ 13.2%)

- マーケット動向を捉えたコンサルティング提案の実践やコスト削減などにより増益

信用保証事業

前年同期比 ▲ 1.8億円 (▲ 38.1%)

- 信用コストの増加などにより前年を下回る

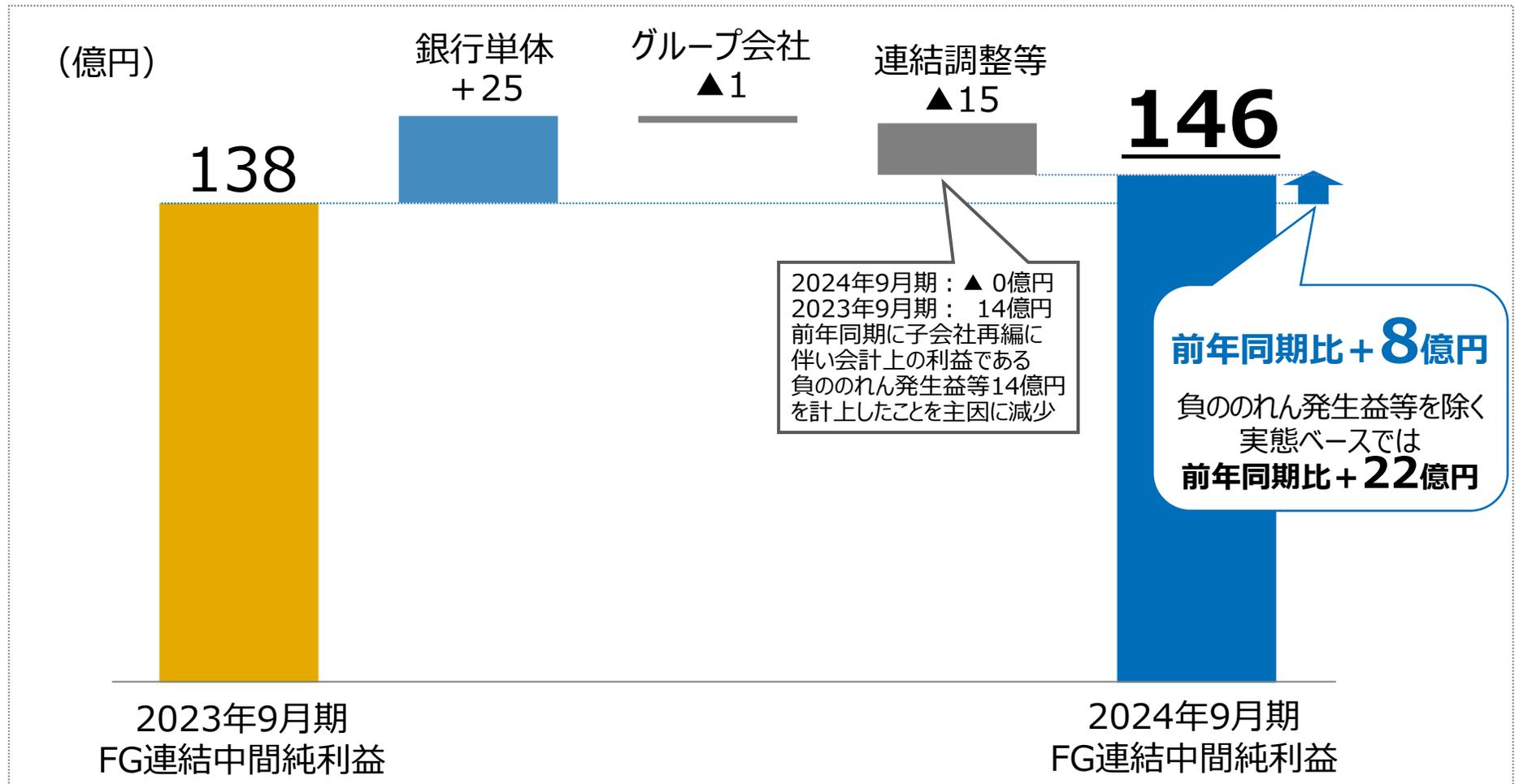
システム事業

前年同期比 ▲ 1.8億円 (-)

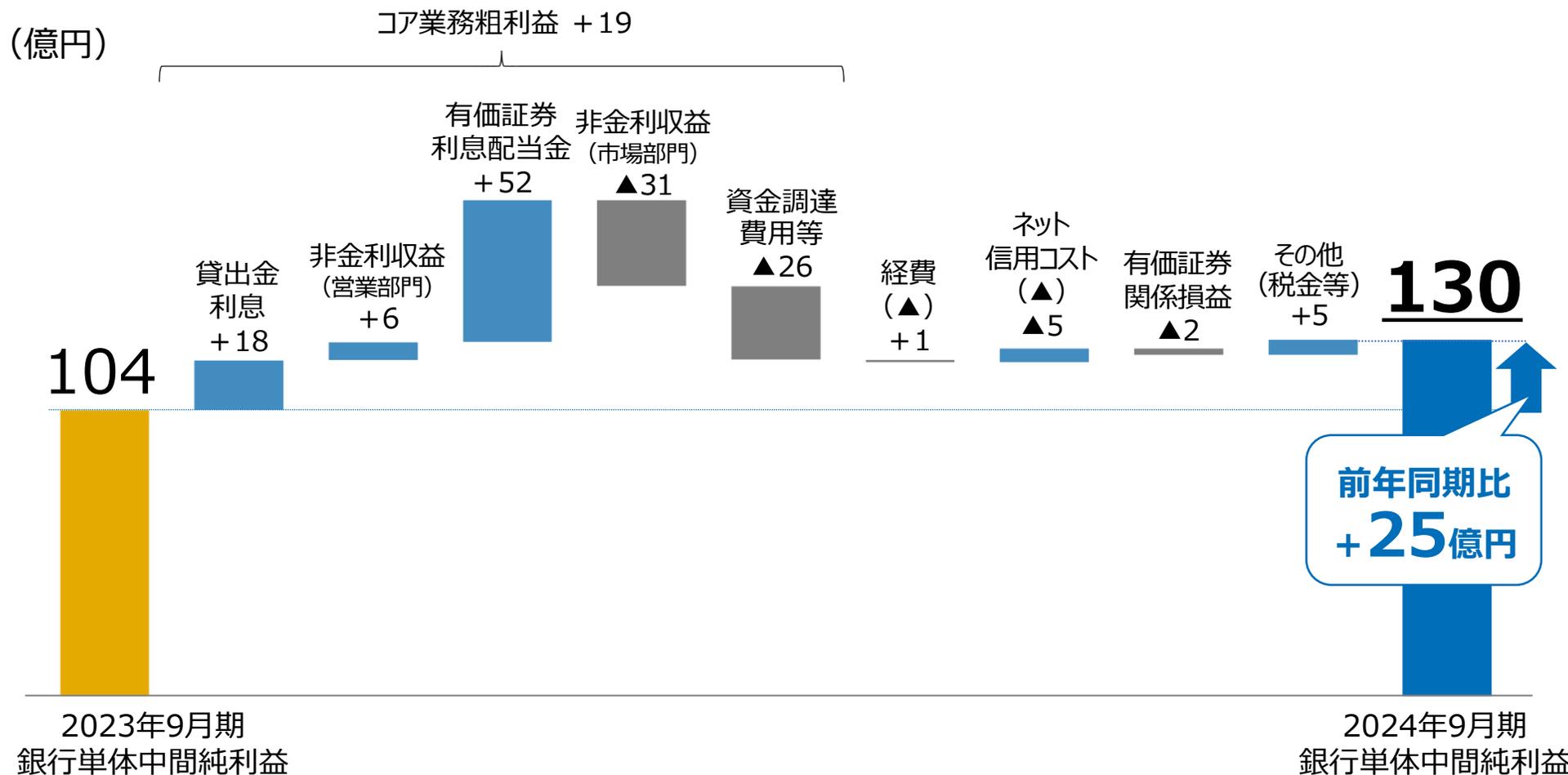
- 前年に計上した大口案件の反動減などにより前年を下回る

FG連結 増減要因

銀行単体の増益により FG連結中間純利益は増益

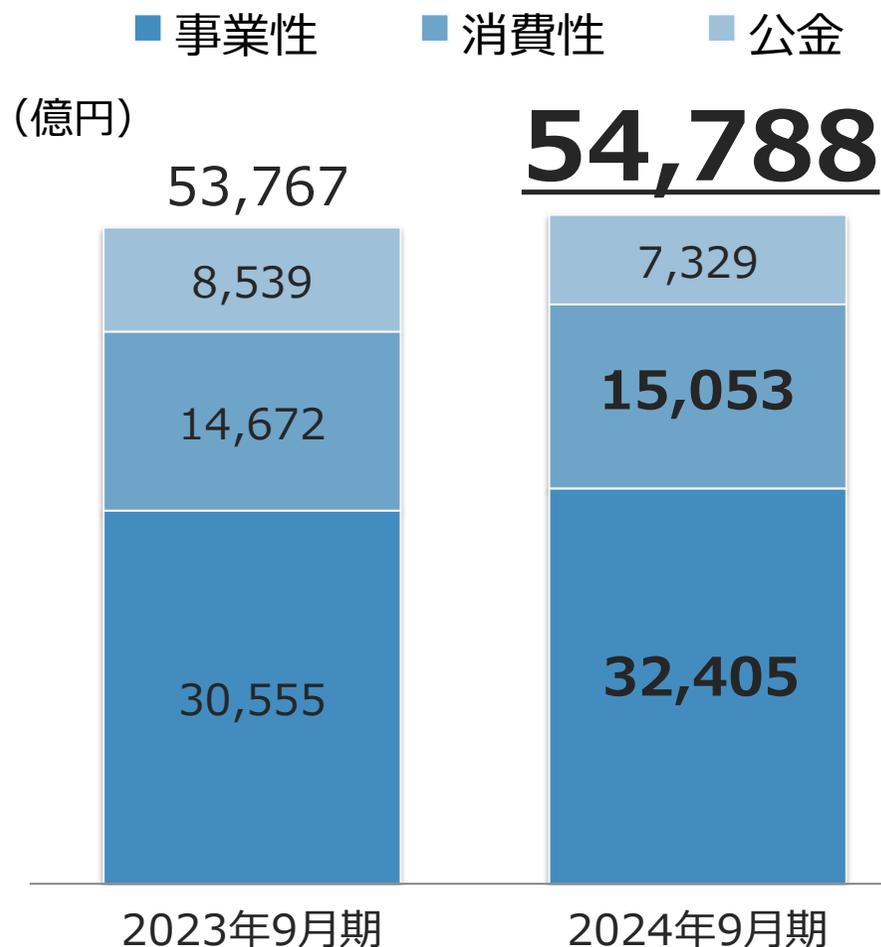


コンサルティング機能の強化により トップライン（コア業務粗利益）を増強



銀行部門

貸出金残高（末残）



前年同期比 + 1,020億円 (+ 1.8%)

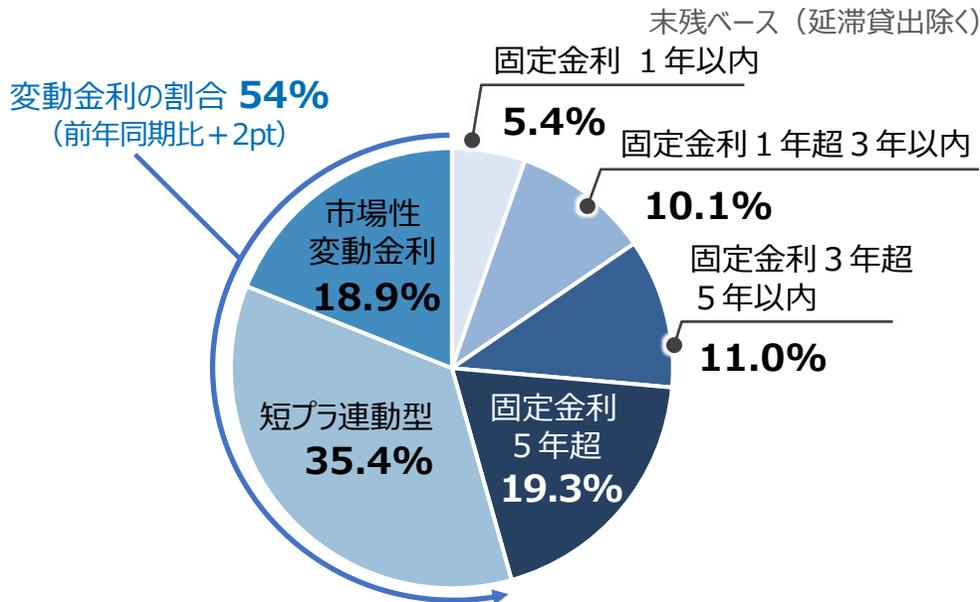
消費性
前年同期比 + 380億円 (+ 2.5%)
- 非対面チャネルの活用などにより住宅ローン・無担保ローンともに増加

事業性
前年同期比 + 1,850億円 (+ 6.0%)
- 県内は実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）の繰り上げ返済の継続などを要因に減少
- 県外は資金需要のある大企業向けなどが増加

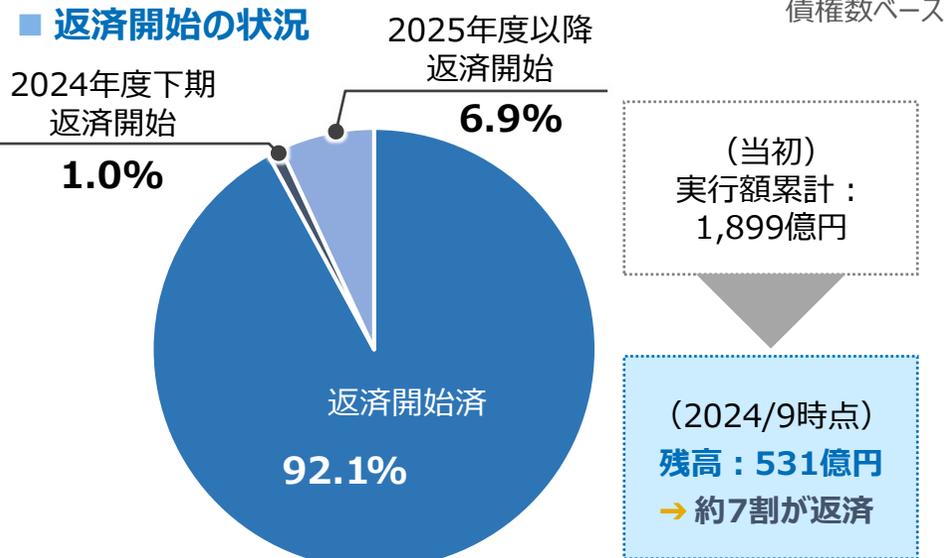
貸出金平残
2023年9月期 53,073
2024年9月期 **54,550**

前年同期比 + 1,477億円 (+ 2.7%)
- 消費性貸出平残 同 + 418億円 (+ 2.8%)
- 事業性貸出平残 同 + 2,030億円 (+ 6.8%)

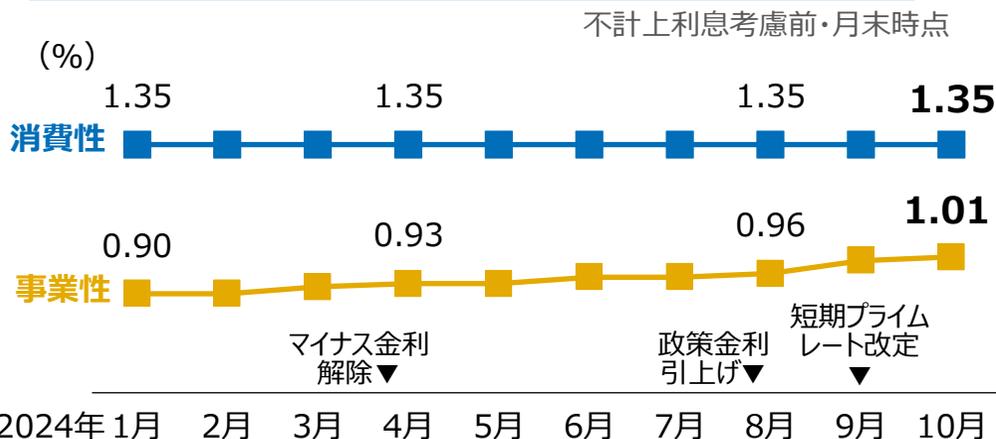
貸出金の構成（貸出金全体） 2024年9月末



実質無利子・無担保融資の状況 2024年9月末



貸出金利回りの推移（月次）

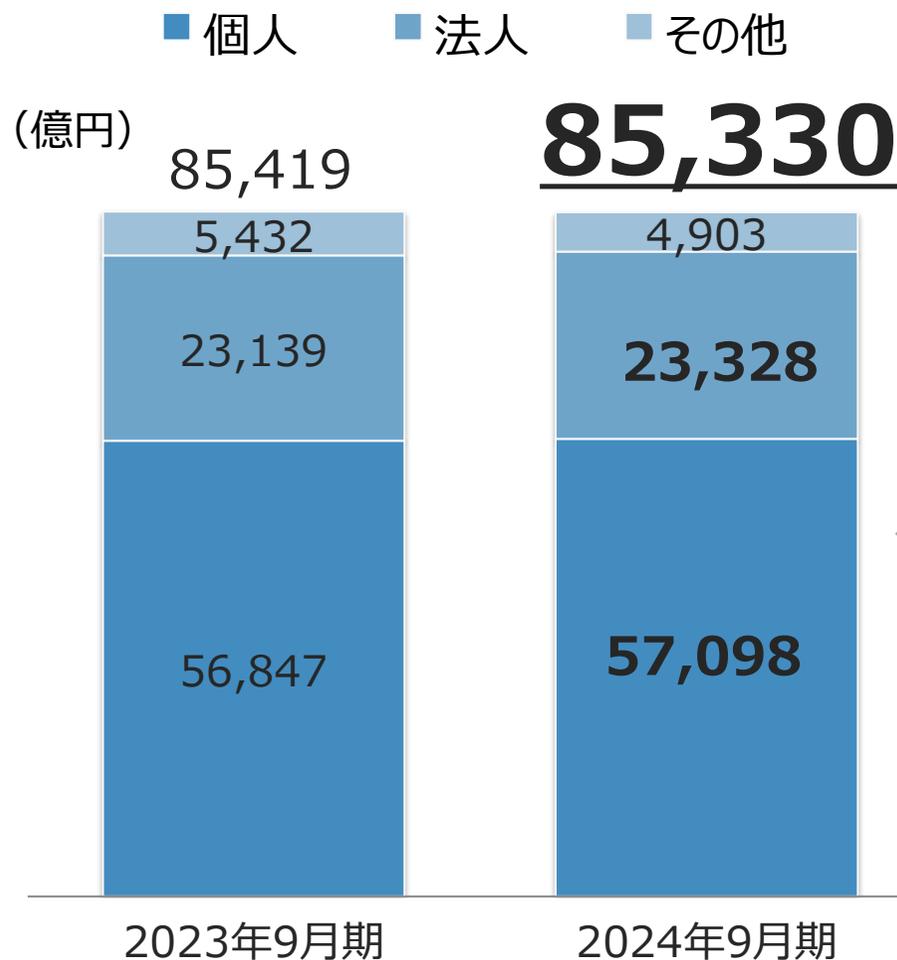


■ 残高・延滞割合 → 延滞率は低位で推移

債権種類	債権数		貸出残高 (億円)	(億円)	
	債権数	比率		残高	比率
全体	4,570	-	531	-	
正常債権	4,480	98.0%	524	98.7%	
延滞債権	90	2.0%	6	1.3%	

銀行部門

預金等残高 (未残)



前年同期比

▲88億円
(▲0.1%)

法人
前年同期比 + 188億円 (+0.8%)

個人
前年同期比 + 251億円 (+0.4%)

その他 (公金等)
前年同期比 ▲528億円 (▲9.7%)
- 法人・個人は順調に増加するものの、税金や交付金などの変動による公金預金の減少を要因に未残は減少。なお、預金等平残は増加

預金等
平残

86,139

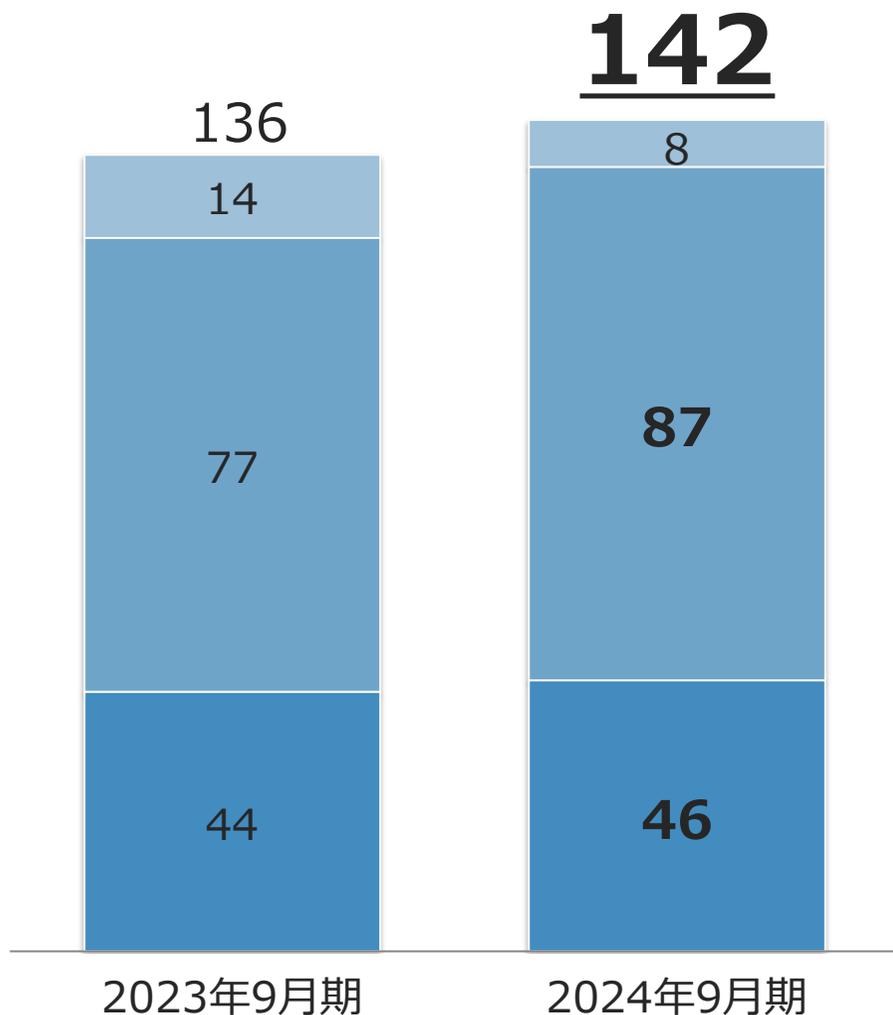
86,644

前年同期比 + 505億円 (+0.5%)

- 法人預金等平残 同 + 198億円 (+0.8%)
個人預金等平残 同 + 610億円 (+1.0%)

■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)



前年同期比

+6億円
(+4.8%)

金融ソリューション収益

前年同期比+10億円 (+14.0%)

- 為替デリバティブ取引が増加

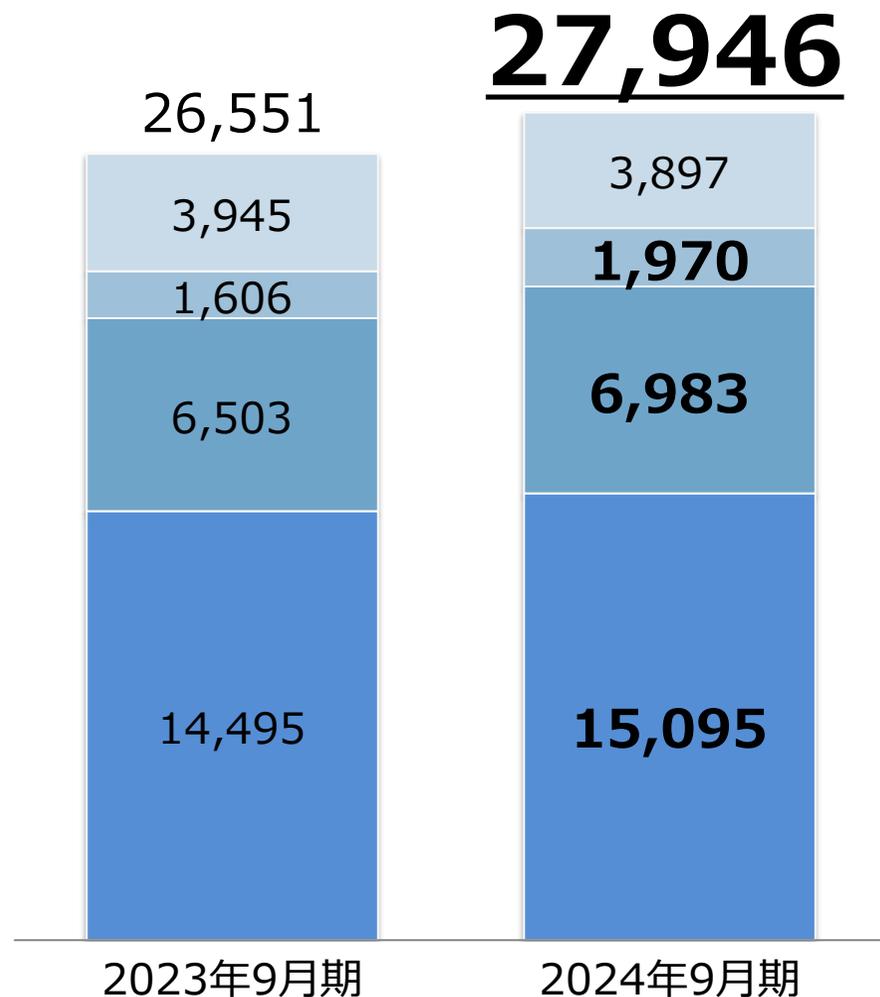
資産運用アドバイス収益

前年同期比+2億円 (+5.1%)

- 保険や投資信託の販売が増加

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



前年同期比 **+1,394億円**
(+5.2%)

株式

前年同期比+363億円 (+22.6%)

-マーケット動向を捉えた積み増しにより増加

外国証券

前年同期比+479億円 (+7.3%)

-債券購入と金利スワップを組み合わせる金利リスクを抑制しながら収益獲得を図るアセットスワップおよびジニーメイ債の積み増しなどにより増加

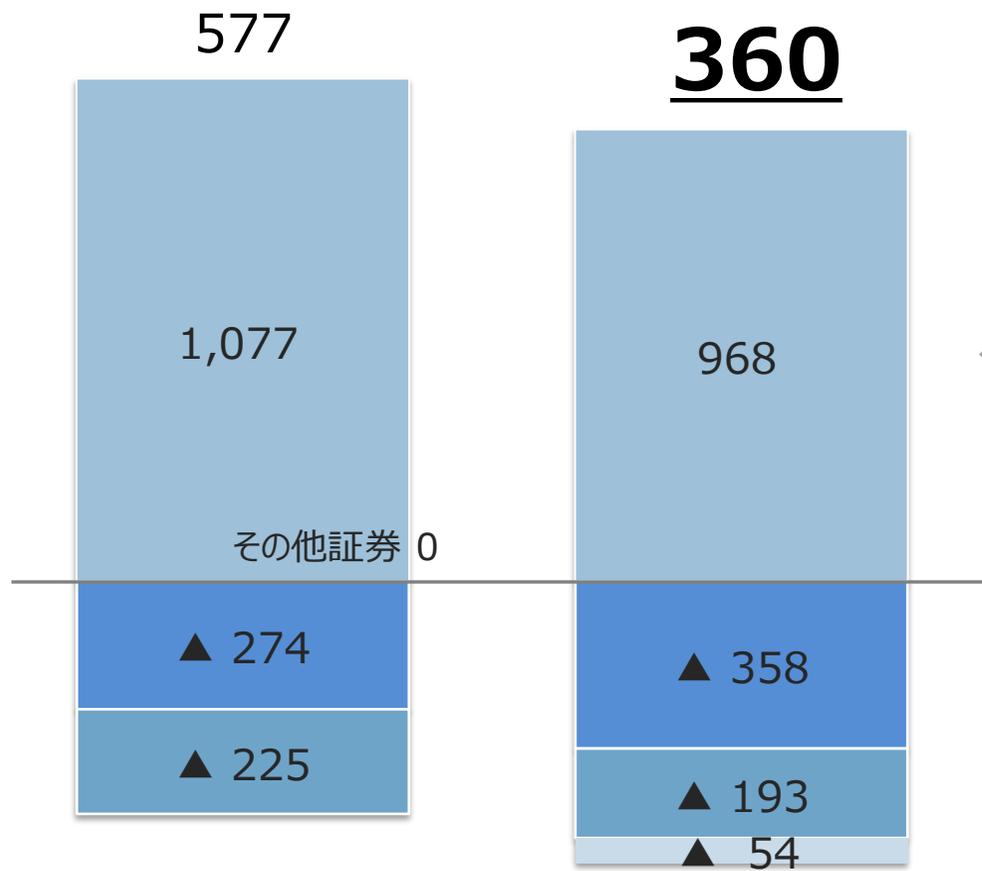
国内債券

前年同期比+600億円 (+4.1%)

-国債やアセットスワップの積み増しなどにより増加

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



有価証券評価損益

2024年3月期比▲216億円

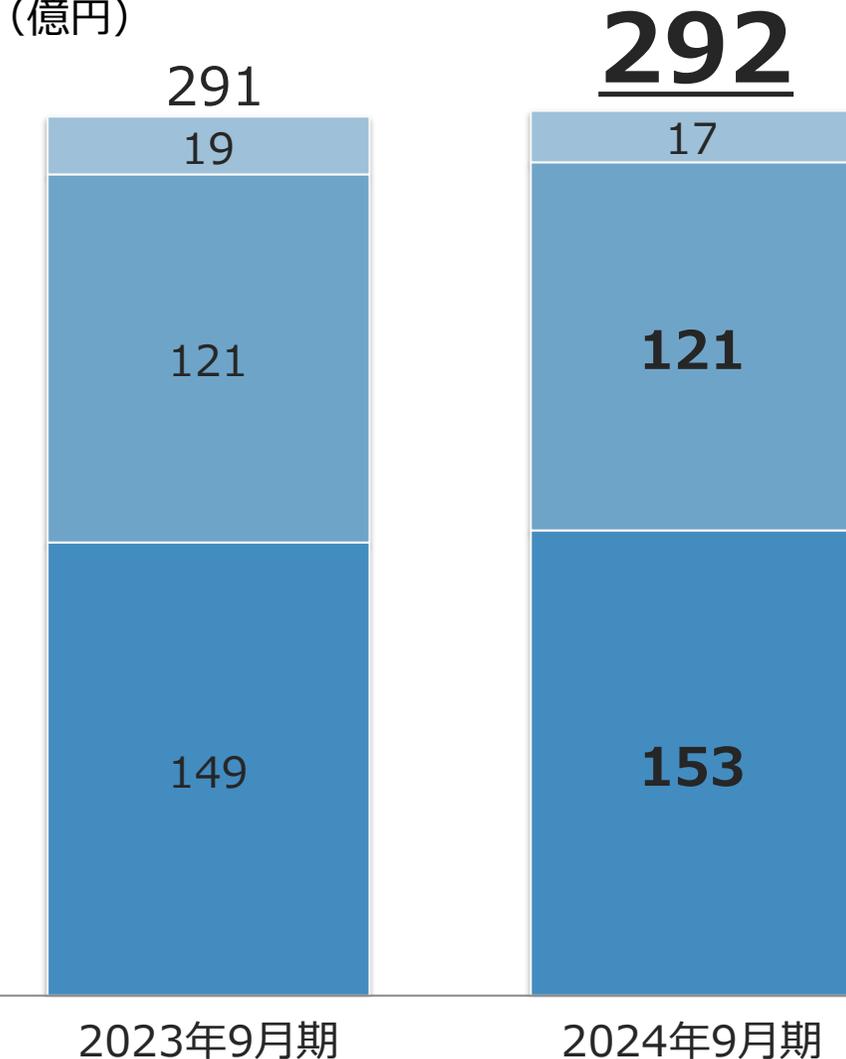
- 外国証券はポートフォリオ改善に向けた売却を進めたことなどから評価損益が改善
- 一方、国内金利の上昇および株価の下落により国内債券・株式の評価損益が減少

2024年3月期

2024年9月期

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金

(億円)



前年同期比

+ 1億円
(+ 0.3%)

物件費

前年同期比▲0億円 (▲0.3%)

－コンサルティング機能の強化やお客さまの利便性向上に向けた戦略的投資などを行う一方、厳格なコスト管理を実施

人件費

前年同期比+3億円 (+2.5%)

－賃上げや人的資本価値の向上に向けた積極的な人財育成投資を実施

2023年9月期

2024年9月期

■ 不良債権比率 ■ ネット信用コスト

(%)

2.23

2.18

不良債権比率

前年同期比▲0.05pt

(億円)

21

16

ネット信用コスト

前年同期比▲5億円

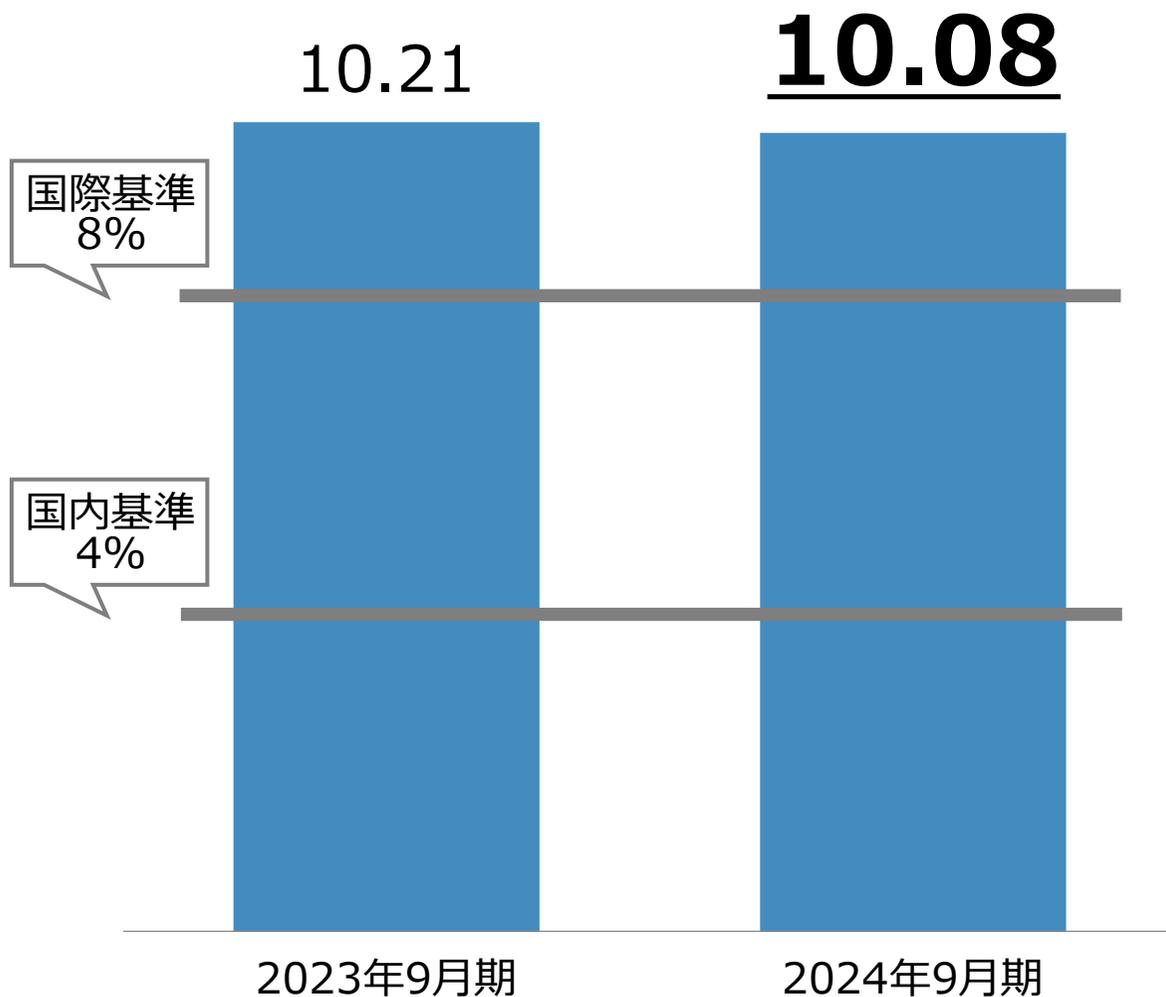
2023年9月期

2024年9月期

- ー 営業部門と審査部門が連携した伴走型の経営改善・事業再生支援などによりネット信用コストは減少
- ー グループ機能を活用したきめ細かな資金繰りや経営改善・事業再生などのご支援に引き続き注力

FG連結自己資本比率

FG連結 (%)



前年同期比

▲0.13pt

- FG連結での自己資本比率は国内基準である4%、国際基準である8%を上回る十分な水準を確保

経営統合によるシナジー（単年度）

単年度の経営統合によるシナジー効果は 当初計画（2018年10月策定）を上回るスピードで進捗中

シナジー効果
(経営統合前の2018年3月期との比較)

2024年9月期（単年度）

実績

+45億円
(計画比 +2億円)

内訳 (単位：億円)		実績	計画比
		+45	+2
	トップラインシナジー	+19	▲5
	コストシナジー	+38	+3
	マイナスシナジー	▲12	+4

<各シナジー効果の内容>

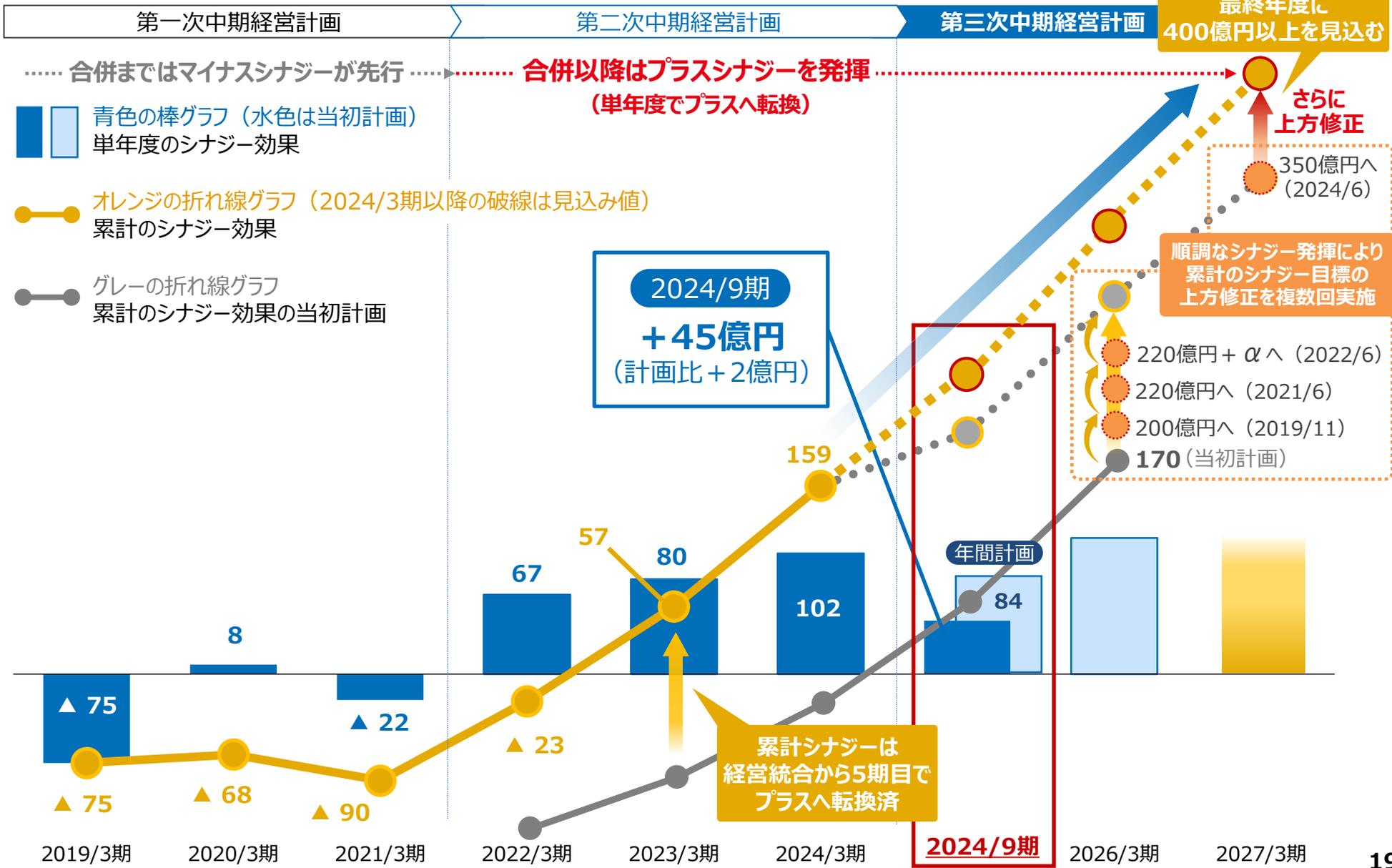
トップラインシナジー	コストシナジー	マイナスシナジー
<ul style="list-style-type: none"> ● 貸出・金融ソリューション ● 資産運用アドバイス ● 手数料分野 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人件費の減少 ● システム事務コストの減少 ● 委託費の減少 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営統合関連費用

経営統合によるシナジー（累計）

New!

第三次中期経営計画
最終年度に
400億円以上を見込む

シナジー効果
(単位: 億円)



2025年3月期 業績予想

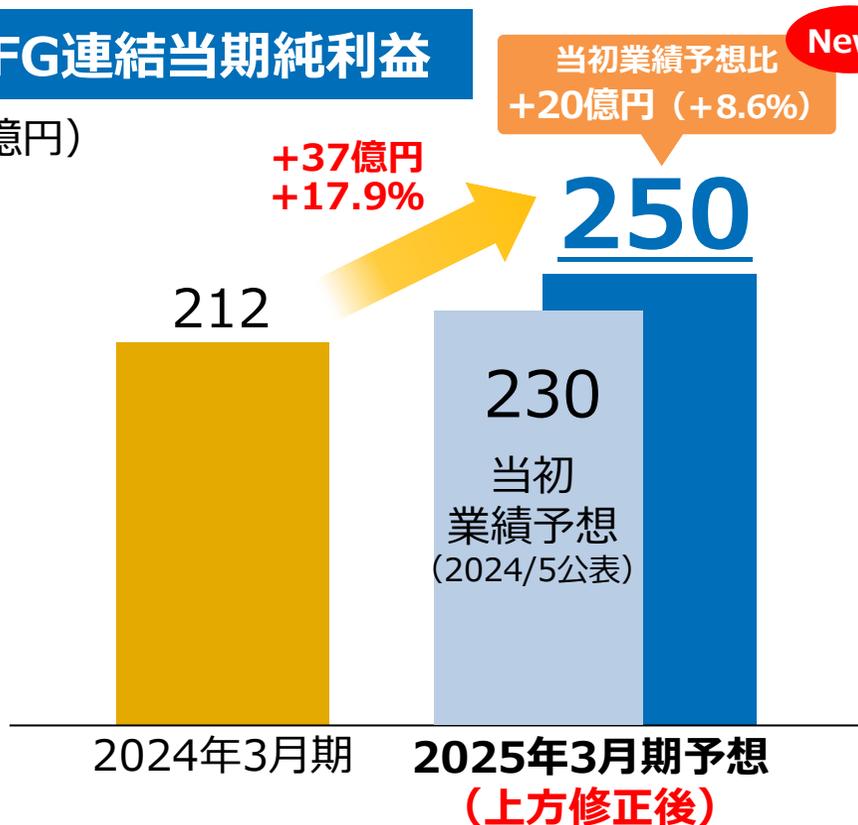
上方修正

- **FG連結当期純利益は、当初予想（2024/5公表）の230億円から+20億円（+8.6%）上方修正し前年比+37億円（同+17.9%）増益の250億円を見込む**

- 「第三次中期経営計画」で取り組んでいる「グループ経営の深化・探索」を通じたグループコンサルティング機能の発揮や市場金利の上昇などにより、トップライン（資金利益・非金利収益等）が当初予想を上回るとともに、経費や信用コストが当初予想を下回ることから2025年3月期通期業績予想を上方修正
- なお、今後の経営環境やマーケット動向等を見極めながら、必要に応じて計画の見直しを行う方針

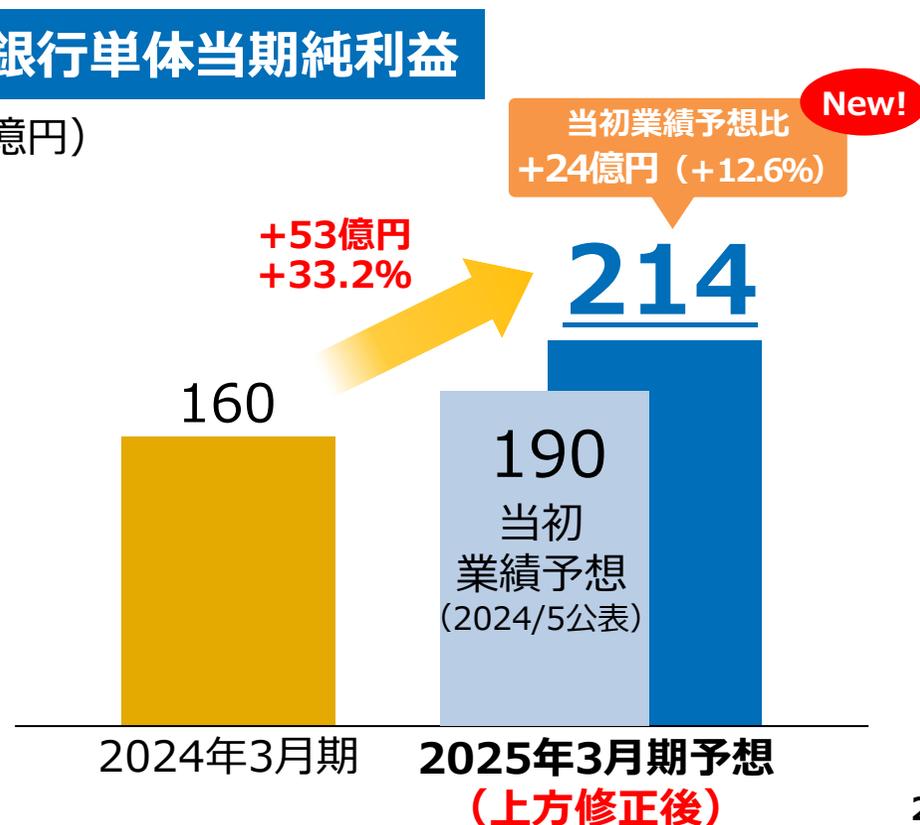
FG連結当期純利益

(億円)



銀行単体当期純利益

(億円)



計画期間：2024/4～2027/3

第三次中期経営計画

持続的な成長に向けた第四北越FGの取り組み

第一次中期経営計画
2018-2020年度

1. 経営統合

第四銀行と北越銀行の
経営統合により誕生

2018年10月

全国に先駆けた同一県内の
シェアNo.1・No.2の
地銀による経営統合



2021年1月

銀行合併・新銀行誕生・
システム・事務統合



140有余年にわたり築き上げてきた
お客さまとの信頼関係



2. TSUBASAアライアンス

地方銀行の広域連携の枠組み

2015年10月～



第二次中期経営計画
2021-2023年度

最重要テーマ **3大シナジーの発揮**

1 合併シナジー

合言葉

一志団結

- 店舗統合 ●本部スリム化
- 業務改革 ●ノウハウの共有

➡ 戦略的分野へ
人員再配置

➡ コスト削減と
戦略的分野への投資

コンサルティング
機能の強化

生産性向上

2 グループシナジー

グループ機能
活用

新事業の
探索

既存事業の
深化

コンサルティング
機能の強化

グループ経営体制
の強化

3 TSUBASA連携シナジー

➡ イノベーション加速の
メインエンジン

トップライン・コスト
シナジーの追求



第三次中期経営計画
2024-2026年度

グループ経営の深化・探索

合言葉

飛躍のステージ

一志勇躍

「環境・
社会課題」

「財務的
課題」



**サステナビリティ
経営の深化**

ダブルマテリアリティを解決



基本戦略 I **グループ総合力の発揮**

基本戦略 II **生産性向上の追求**

基本戦略 III **人的資本価値の向上**

基本戦略 IV **リスクマネジメントの深化**

(全戦略共通のテーマ)

TSUBASAアライアンスの深化



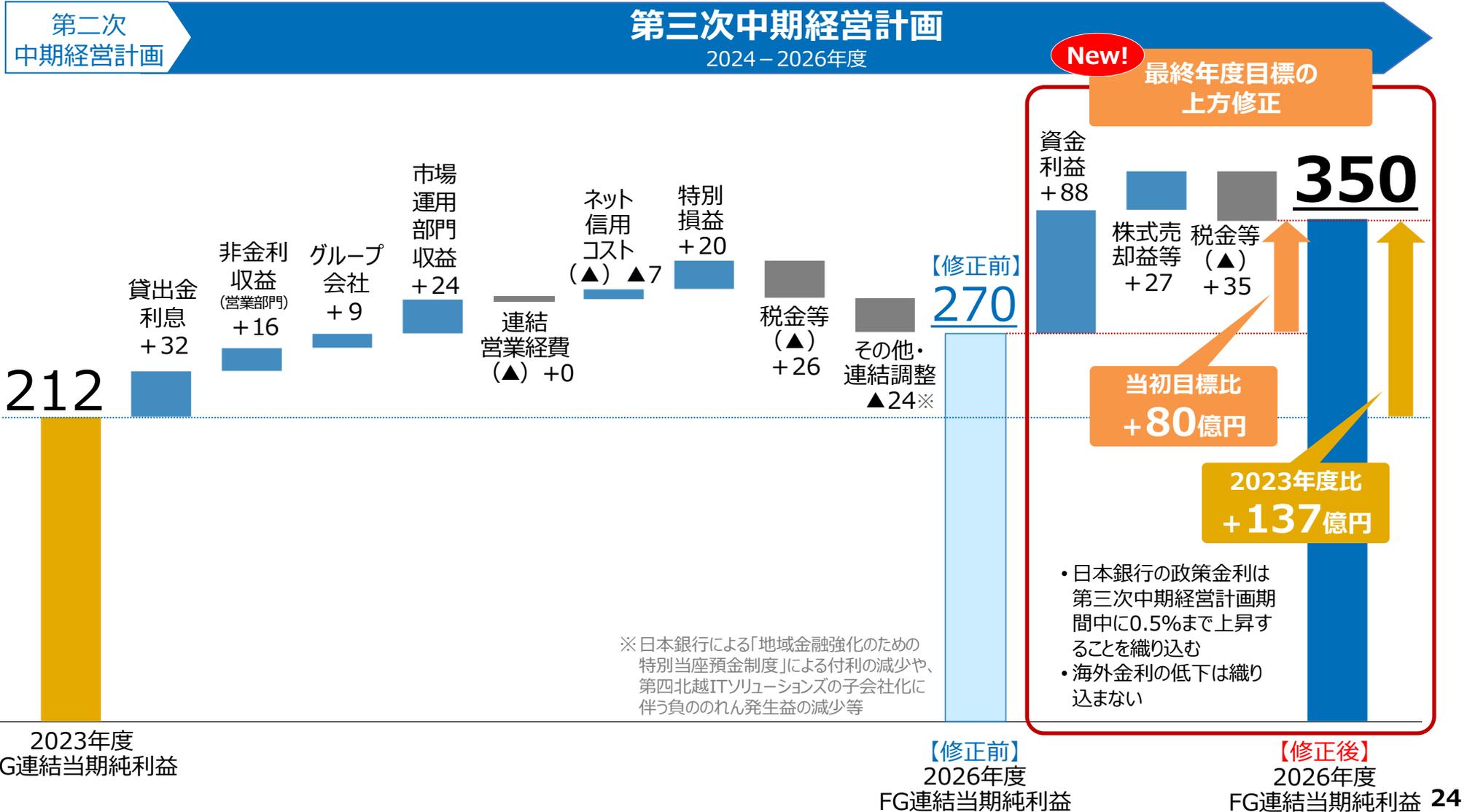
経営指標目標（KPI）の変更 上方修正

- “飛躍のステージ”と位置付ける「第三次中期経営計画」における経営指標目標を上方修正
- 中期経営計画の最終年度のFG連結当期純利益目標は350億円へ（当初目標比+80億円）
 - 第三次中期経営計画は、マイナス金利解除前の金利をベースに策定していたことから、現在の政策金利などによる影響を織り込むとともに、足元で順調に業績が推移していることなどを踏まえ、経営指標目標を上方修正
 - なお、今後の経営環境やマーケット動向等を見極めながら、必要に応じて計画の見直しを行う方針

経営指標目標 (KPI) —第四北越FGの 財務的課題—	第二次中期経営計画	第三次中期経営計画（2024–2026年度）		
	2024/3期 (2023年度)	当初目標	2027/3期（2026年度） New! 上方修正後 目標	当初目標比
連結当期純利益	212億円	270億円	350億円	+80億円
連結OHR	65.1%	61%台	57%台	▲4pt
連結ROE	4.6%	5%以上	6.5%以上	+1.5pt
連結自己資本比率	10.03%	10%以上	—	—

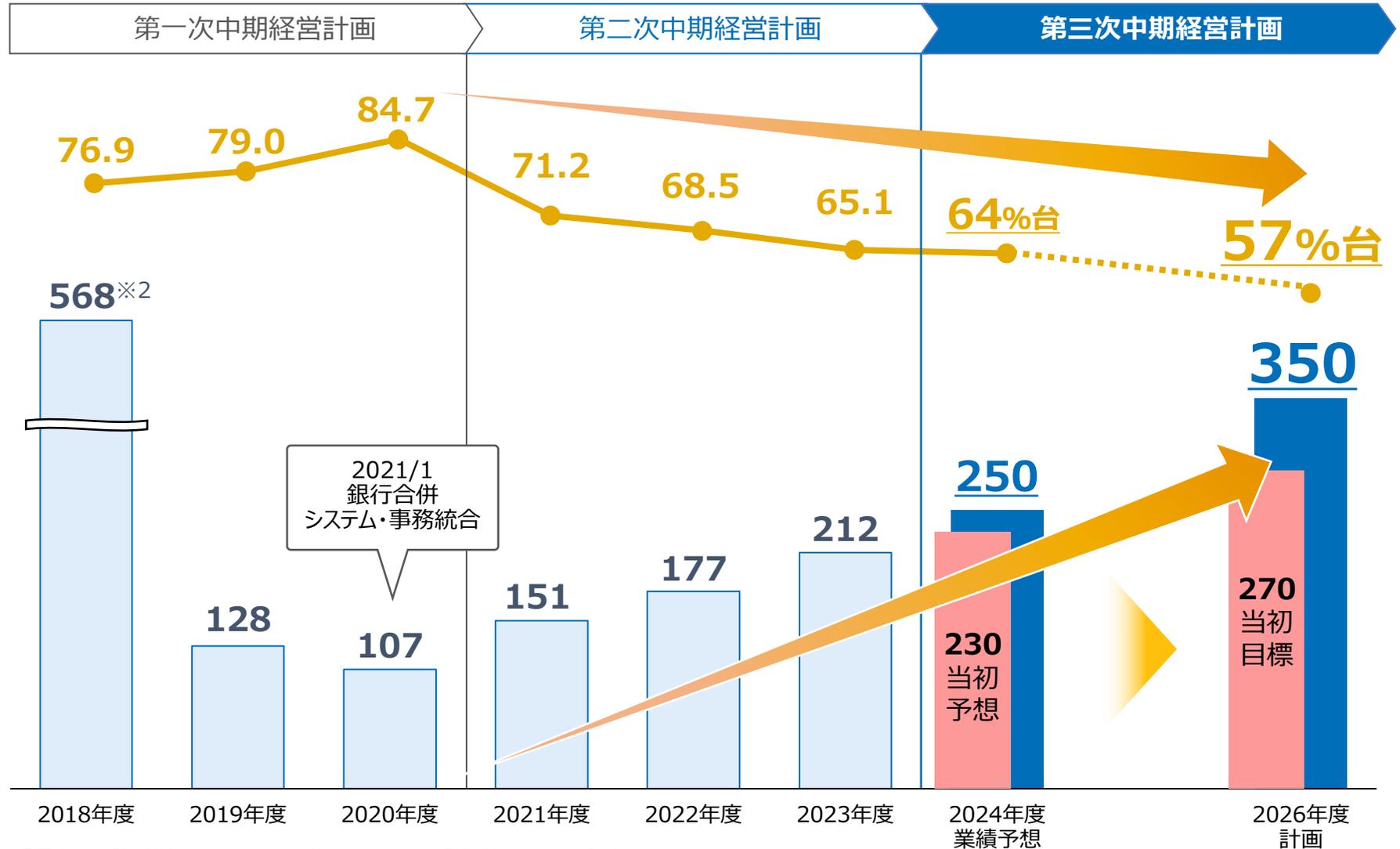
第三次中期経営計画 FG連結当期純利益目標の増減要因

■ 最終年度のFG連結当期純利益目標を上方修正



第三次中期経営計画 経営指標目標 (KPI)

■ 経営統合・銀行合併を経て収益力は着実に向上



※1：親会社株主に帰属する当期純利益

※2：2018年度は負ののれん発生益472億円の計上あり

基本戦略 I グループ総合力の発揮

■ グループコンサルティング機能の強化 – 地域創生分野 –

地域創生への取り組み強化

– 新潟県内マーケットの深掘り“深化” –

トピックス (2024/7) **New!**



祝 世界文化遺産登録
佐渡島の金山

→ 世界文化遺産登録を記念した
「事業者向け寄付型融資」「寄付型私募債」の取り扱い
(2024/8～2025/3)

銀行・グループ会社の組織横断で組成した
プロジェクトメンバーが中心となり推進

「にいがたPPP/PFI研究フォーラム」
への参画 (2024/1)

日本生命との
「地域のサステナビリティ推進に関する
パートナーシップ協定」の締結
(2024/5)

佐渡地域の面的再生
プロジェクト

村上・胎内沖
洋上風力
プロジェクト

New!

「IPO経営人材育成プログラムNIIGATA」
の開催 (2024/5～2024/10)
→ 新潟県からのIPOをサポート

New!

「新潟イノベーション・プログラム2024」
の開催 (2024/7～2024/12)
→ 新規創業・事業多角化等をサポート

『みなとまち新潟』応援私募債を活用した
「新潟市観光振興動画」の作成・寄贈
(2024/3)

燕三条地域
環境省「ESG地域金融促進事業」(2022/7)
(脱炭素化支援)

三条地域での産学官金による
「包括連携協定」の締結 (2023/6)

長岡市街地再開発事業を通じた地域振興の取り組み
(2023/7)

(長岡本店営業部・金融資料室「第四北越ミュージアム」新設)

第四北越FG



人的資本価値強化
プロジェクトチーム
約20人

銀行営業店に常駐する
本部専門人員
約70人
(新潟県外駐在を含む)

妙高地区
開発
プロジェクト

お取引先アンケート結果

今後の設備投資計画
(2025/3期の設備投資予定)

新潟県内
合計金額

約**2,500**億円

基本戦略 I グループ総合力の発揮

■ グループコンサルティング機能の強化 – 法人分野 –

県外営業推進態勢の強化

–新潟県外マーケットの推進“探索”–

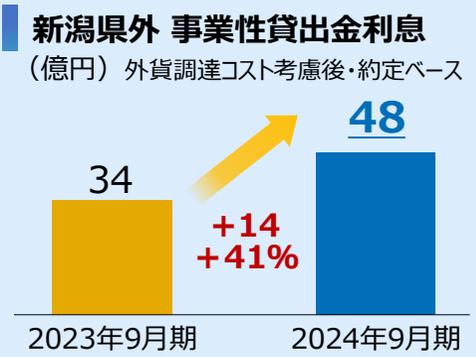
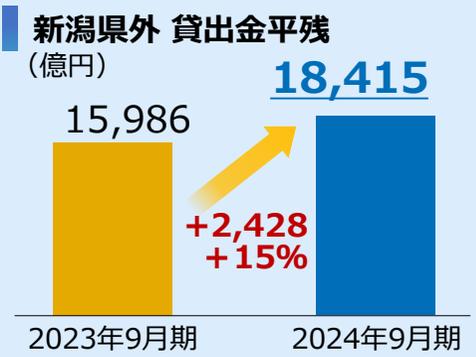


(上記以外の地区)
北海道、富山県、愛知県、大阪府に各1拠点

前中計 第四北越銀行
営業本部・東京オフィス 19人体制

新中計
New! “東京営業本部”への格上げ (2024年7月)
28人体制 (+9人)
→ 県外営業推進を統括

–主な推進分野–
ストラクチャードファイナンス 事業性貸出
法人ソリューション 富裕層ビジネス TSUBASA連携 etc.



事業拡大・継続に向けたご支援

- 「プライベートバンクオフィス」の新設 (2024年4月)
● 事業承継・運用相談等から非金融分野までの総合コンサルティングを展開 **New!**
- “海外事業戦略室”の新設 (2024年7月)
● 海外事業展開サポートの強化に向けて大手コンサルティングファームとの連携開始 (2024年8月) **New!**



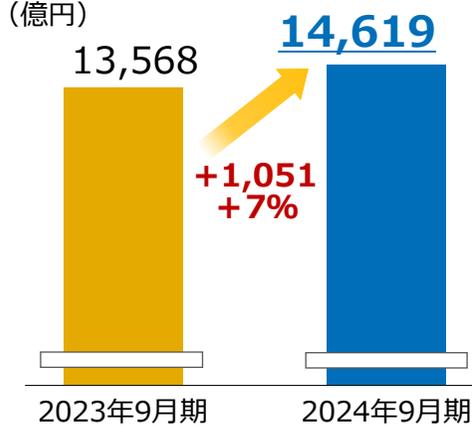
投資専門子会社
第四北越
キャピタルパートナーズ
“第四北越地域創生ファンド”
(1・2号)の活用
→バンチャー・事業承継等で活用

基本戦略 I グループ総合力の発揮

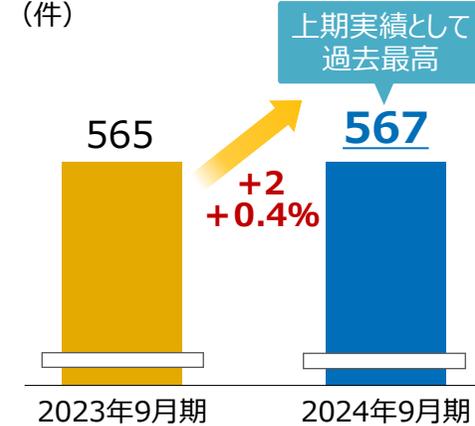
■ グループコンサルティング機能の強化 – 個人分野 –

資産運用・承継コンサルティングの強化

■ 第四北越銀行・第四北越証券合算
グループ預かり資産残高（未残）
（億円）

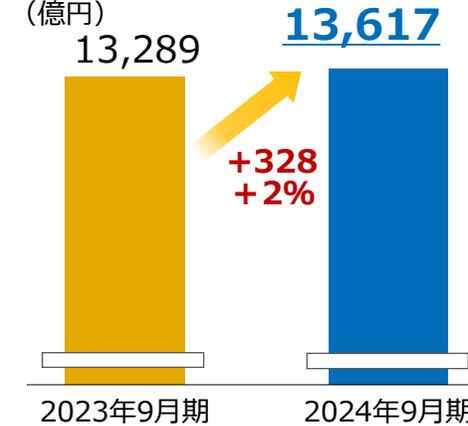


■ 相続関連業務取扱件数
遺言信託・遺産整理業務・遺言代用信託等
（件）

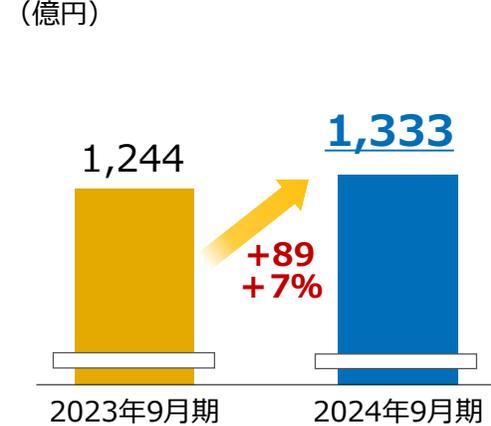


ライフプランに応じた個人向けローンの推進

■ 住宅ローン残高（平残）
（億円）



■ 個人無担保ローン残高（平残）
（億円）



■ 資産運用分野における業務提携契約の締結

（2024年8月）

New!

- 三井住友信託銀行と包括的な業務提携を開始
 - 商品・サービスの拡充、人材育成、内部管理態勢の整備、金融経済教育などの連携を展開

NISA口座数
地方銀行

第8位

2024年6月末時点
出典：ニッキン投信情報
（2024.8.26付）

生命保険料収入額
地方銀行

第1位

2024年上期実績
出典：ニッキンレポート
（2024.11.11付）

前年度に続き
上期も第1位

■ 商品・サービスラインアップの拡充

- 住宅ローン「ZEH住宅応援プラン」の取扱開始（2024年4月）
 - ZEH住宅の場合手数料または金利を優遇
- 住宅ローンにおける「ダイバーシティへの取り組み」（2024年9月） **New!**
 - 連帯債務型住宅ローンにおける融資対象者や、ローン審査時の収入合算の対象者に同性パートナーや事実婚の配偶者を追加



■ 「住宅ローンアシスト」の取扱開始（2024年8月）

New!

- 住宅業者さまによる審査状況確認や資料のアップロードがWEBで可能
 - お客さまと住宅業者さまの双方のお手続き負担を大幅に軽減

基本戦略 I グループ総合力の発揮

■ グループコンサルティング機能の強化 – FGグループ機能の深化・探索 –

“複線型”連携強化によるグループ機能の“深化”



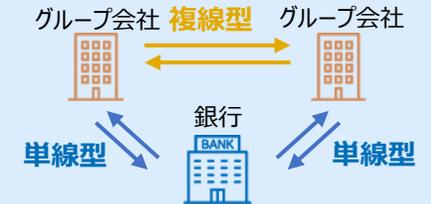
金融分野

銀行	第四北越銀行	リース	北越リース
証券	第四北越証券	信用保証	第四信用保証 北越信用保証
リース	第四北越リース		
ファンド運営	第四北越キャピタルパートナーズ		
カード	第四ジェーシービーカード／北越カード 第四ディーシーカード		

非金融分野

システム	DH-ITS 第四北越ITソリューションズ
人材紹介	第四北越キャリアブリッジ
コンサルティング・調査	第四北越リサーチ & コンサルティング
地域商社	ブリッジにいがた

複線型連携の強化

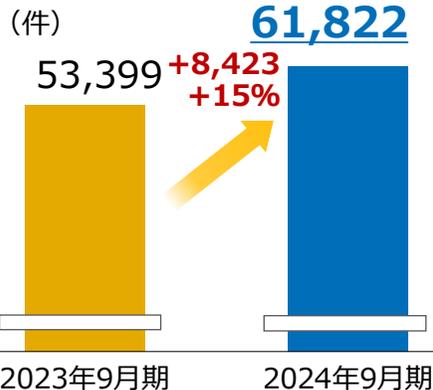


グループ総取引先数

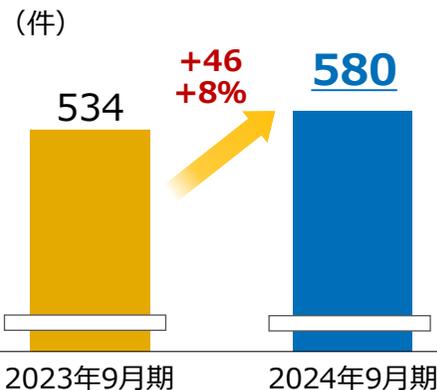
※FGグループ各社と経常的に取引
いただいている法人先数（延べ数）

61,607先
(計画比+340先)
(2024年9月期)

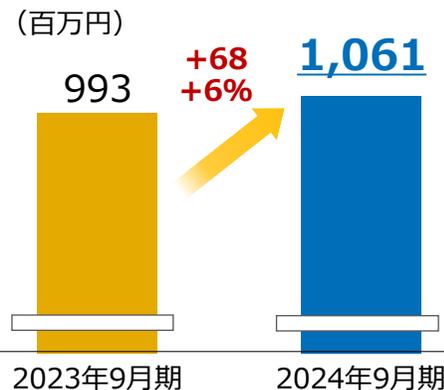
証券仲介成約件数



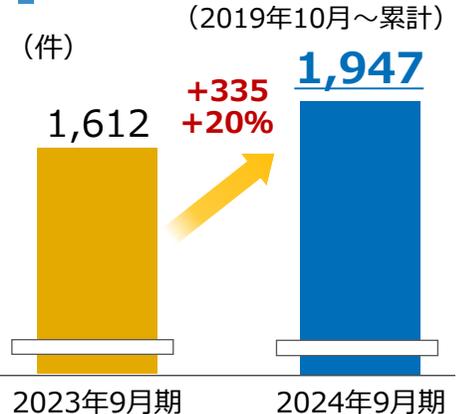
銀行紹介による リース案件紹介成約件数



カード事業3社 ショッピング手数料



人材紹介受付件数



基本戦略 I グループ総合力の発揮

■ グループコンサルティング機能の強化 – FGグループ機能の深化・探索 –

グループ総合力の発揮に向けた子会社再編

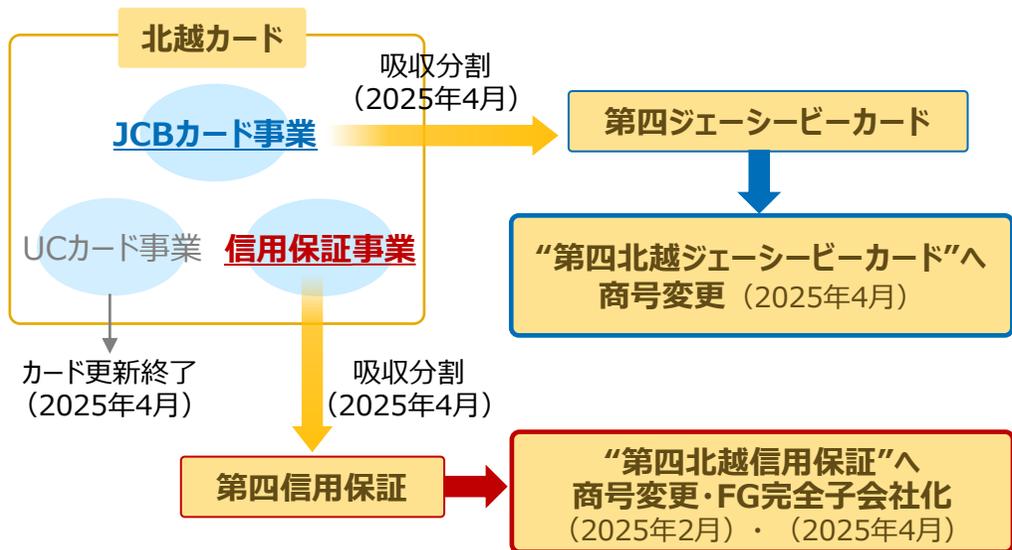
■ カード事業における事業の集約・商号変更 (2024年7月公表) New!

- 北越カードのJCBカード事業（カード会員・加盟店事業）を第四ジェーシービーカードへ承継、第四ジェーシービーカードを「第四北越ジェーシービーカード」へ商号変更（2025年4月予定）

■ 信用保証事業における組織再編 (2024年11月公表) New!

- 第四信用保証を「第四北越信用保証」へ商号変更（2025年2月予定）したうえで、FG完全子会社化および北越カードの信用保証事業を承継（2025年4月予定）

→ 効率的かつ効果的な事業運営・商号変更によるブランドの統一化を実現



■ 地域商社「ブリッジにいがた」における事業再編 (2024年9月公表) New!

- 生産性向上事業のうち、ITツールの販売・導入支援業務を第四北越ITソリューションズに、業務効率化コンサルティング業務を第四北越銀行に集約し、FG内での生産性向上事業を再編（2025年1月予定）

- 地域のDX推進に向けた効率的かつ効果的な体制を整備
- グループ各社の専門性をさらに向上
- 地域商社は“販路開拓”と“観光振興”に集中的に取り組む



トピックス New!

直営アンテナショップ[®]（東京・日本橋）
店舗リニューアル
（2024年7月）

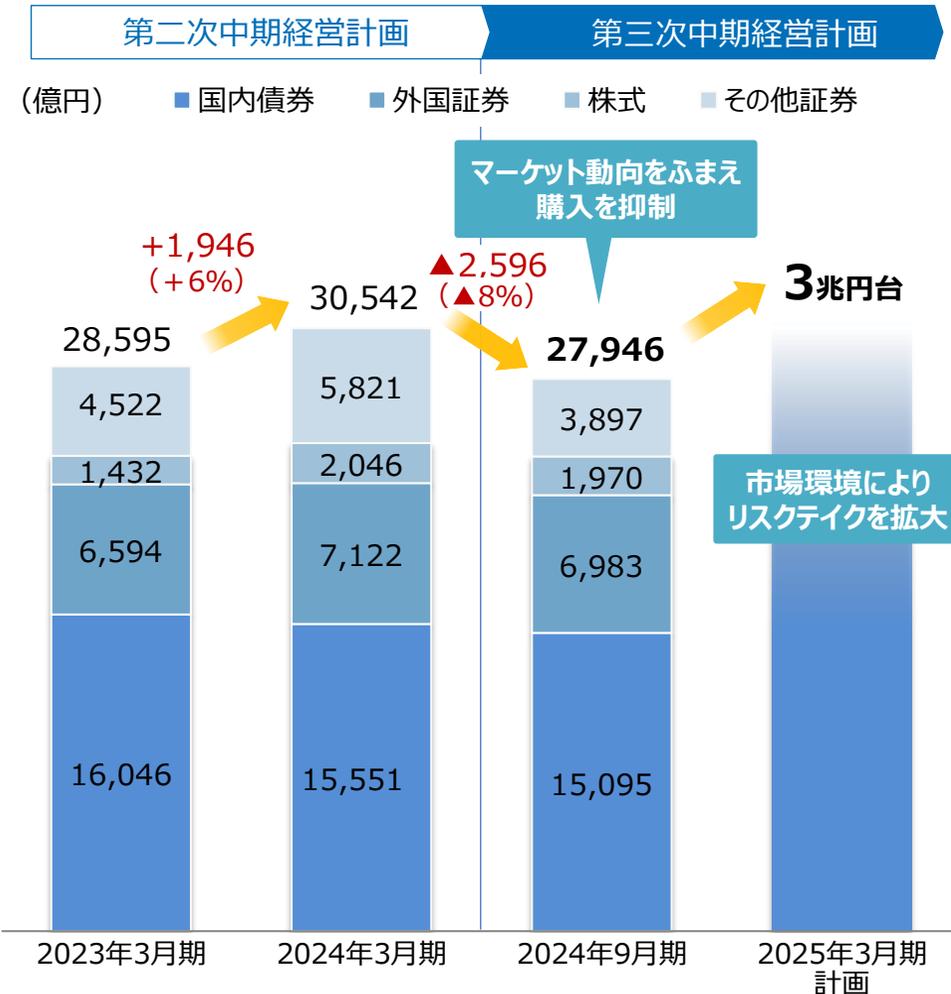
- イベントスペースを約2倍に拡大
新潟県産品の販路拡大を支援



基本戦略 I グループ総合力の発揮

■ グループコンサルティング機能の強化 – 有価証券運用 –

有価証券残高（末残）



有価証券運用に関する基本方針

- 市場環境の変化を察知し機敏かつ果敢にポートフォリオの見直しを実践するとともに、流動性・透明性にも配慮し、安定的な収益確保と評価損益の改善を図る
- 変動が激しく、不確実性・複雑性の高い市場環境に対応できる人財の育成により人的資本価値の向上を図り、組織としての運用力を強化し、市場変動に迅速な対応が可能な体制を構築する

有価証券運用に関する組織力・人財育成の強化

- 不確実性の高い市場環境に対応し、有価証券運用の深化と組織的な運用力の強化に向けて、運用担当者を増員
- 女性登用によるダイバーシティの推進を図るほか、外部研修派遣による実践力の強化と外部知見の活用を推進

【有価証券運用担当者の人員】

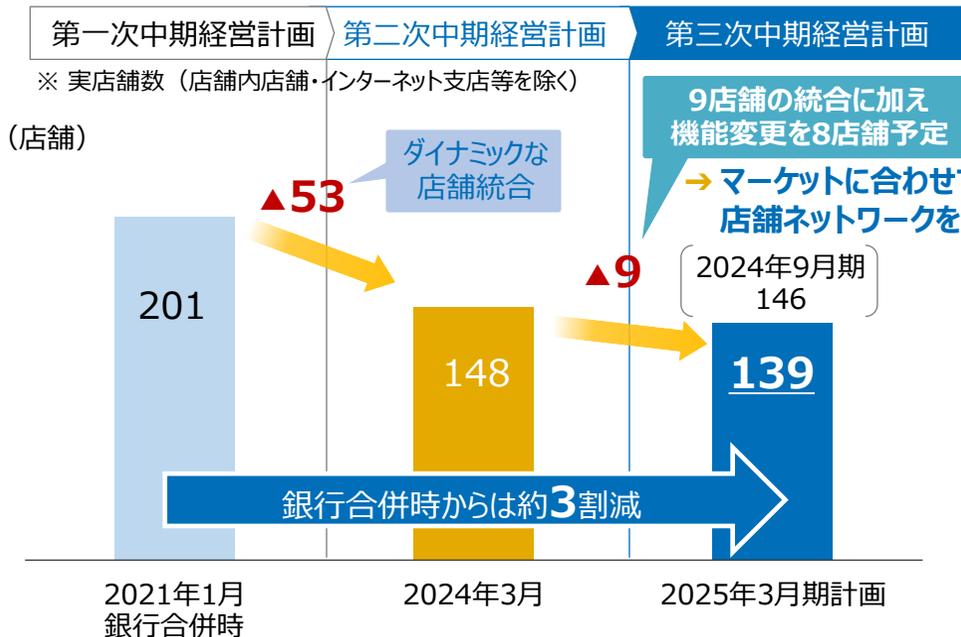
資産クラス	2024年 9月末	2024年 3月末比	2027年 3月末 (計画)	2024年 3月末比
運用統括者	2名	±0名	2名	±0名
国内債券・外国証券	3名	±0名	6名	+3名
株式	2名	±0名	3名	+1名
投資信託他	5名	+1名	4名	±0名
外部研修派遣	2名	+1名	2名	+1名
合計	14名	+2名	17名	+5名

基本戦略Ⅱ 生産性向上の追求

■ 対面・非対面チャネルの連動によるUXの向上 環境変化を踏まえた対面チャネルの強化

店舗ネットワークの最適化

■ <銀行部門> 店舗数の推移 (新潟県内営業体制の深化)



人員創出・
重点分野へ戦略的に
再配分

×

店舗運営コスト低減・
生産性向上

■ セミセルフ型店舗

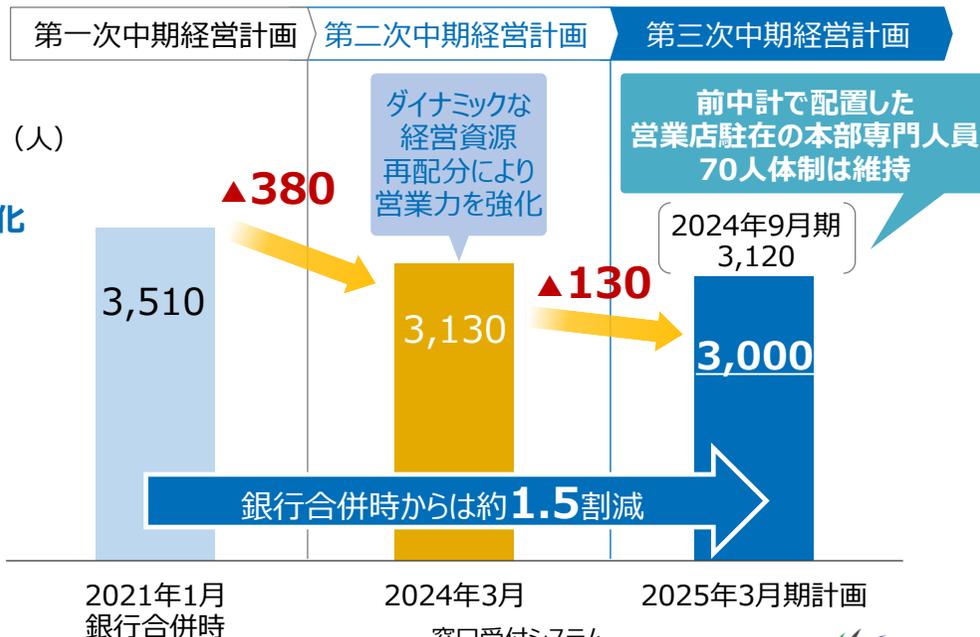
スマートステーション **New!**

(2024年7月)

- ATMやタブレットなどを活用し、行員のサポートのもとお客さまご自身でお取り引きをする新しい店舗形態 (2024年11月時点)
- 導入店舗 **4店舗**

人員数最適化

■ <銀行部門> 行員数の推移 (概数)



業務効率化の推進
「ECRS全社・全店運動」
(2024年4月～)

×

人員創出・再配分
コンサルティング力増強

窓口受付システム
“TSUBASA Smile”を
活用した業務効率化の推進

- 窓口受付システム「TSUBASA Smile」や受付後の処理を主に行う「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」を活用して業務量を削減中
→ 対象業務を順次拡大中



基本戦略Ⅱ 生産性向上の追求

■ 対面・非対面チャネルの連動によるUXの向上

DXによる非対面チャネルの強化①

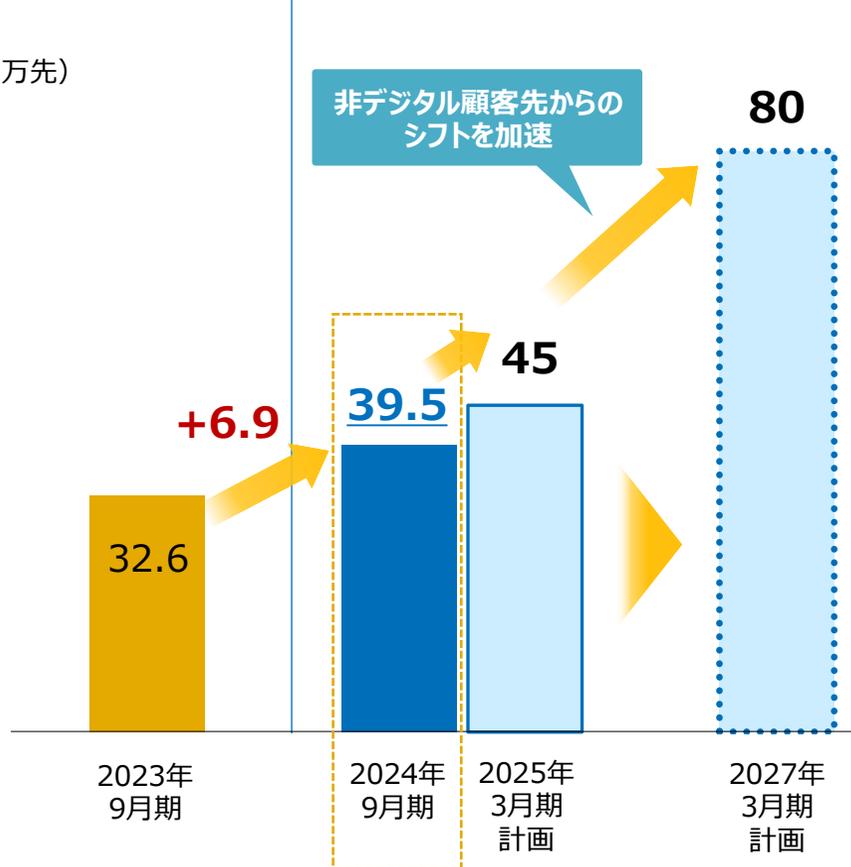
非対面取引の基盤となる“デジタル顧客”の増強

デジタル顧客数※ ※だいしほくえつID保有者（りとるばんく・マイページの利用者等）および個人eネットバンキング利用者数

第二次中期経営計画

第三次中期経営計画

(万先)

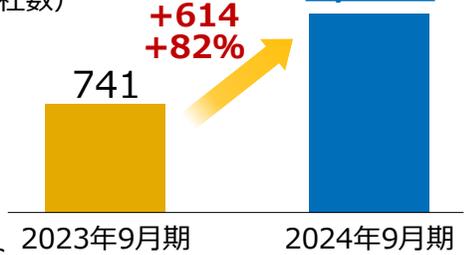


事業者向けポータルサイト“CONNECT-BIZ”



- 社内掲示板
- グループメッセージ
- 安否確認
- 動画配信
- 専用商品の提供
- 資金管理機能 etc.

【利用社数】
(社数)

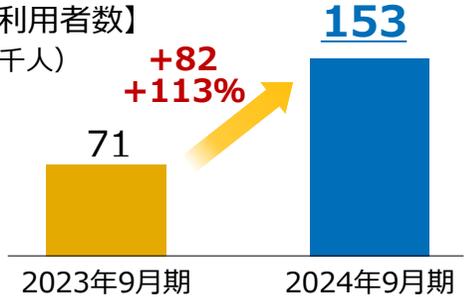


スマートフォン向けアプリ“第四北越りとるばんく”



- 残高照会
- 振込・振替
- 税金支払
- カードローン etc.

【利用者数】
(千人)

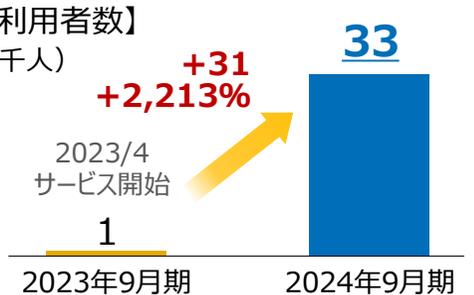


個人向けWebサービス“マイページ”



- 住宅ローン手続き
- 団体信用生命保険手続き etc.
- 書類確認

【利用者数】
(千人)



基本戦略Ⅱ 生産性向上の追求

■ 対面・非対面チャネルの連動によるUXの向上

DXによる非対面チャネルの強化②

地域経済のキャッシュレス推進

■ 「TSUBASA第四北越キャッシュレス加盟店サービス」

取り扱い開始 (2024年10月)

加盟店獲得件数

260店舗超

(2024年11月時点)

→ 銀行本体による
加盟店事業への参入
新たな推進領域の“探索”

New!



■ 「第四北越JCBデビット」取り扱い開始

(2024年8月)

カード会員数

1万2千人超

(2024年11月時点)

New!



お客さまのDXに向けたご支援

■ 第四北越DXコンサルティングサービス

「DX宣言策定支援サービス」(2024年4月)

受託件数

58件

(2024年10月末時点)

- DX宣言書・DXプランの作成
- DX宣言説明動画の作成 etc.



■ DH-ITS 「システムコンサルティングサービス」

第四北越ITソリューションズ

- お客さまの業務内容や経営戦略・課題を分析し、最適なITシステムの構築をご支援

地域全体のDXに向けたご支援

■ 新潟県「DX関連業務」の受託 **ブリッジにいがた**

新潟県 (令和6年度)

「新潟県DXコンシェルジュ運営業務」受託 (2024年5月)

- 県内企業向けDXに関する相談受付
- DXに関する課題解決に向けたIT企業とのマッチング支援 etc.

新潟県 (令和6年度)

「支援機関連携DX意識改革業務」受託 (2024年8月)

New!

- 金融機関・商工団体職員向けセミナー・研修、伴走支援 etc.

■ 地域のDX推進に向けた取り組み

国税ダイレクト納付普及に対する

「感謝状」を拝受 (2024年5月)

- 国税ダイレクト納付の普及促進に向けたFGの取り組みが高い評価を受け、関東信越国税局より感謝状を拝受



■ 「新潟県下一斉キャッシュレス納付推進プロジェクト」の立ち上げ (2024年10月)

New!

- 新潟税務署、新潟県納税貯蓄組合総連合会等と連携して設立 (事務局：第四北越銀行ほか)
- 県内におけるキャッシュレス納付を推進するため「キャッシュレス納付推進共同宣言」を実施



基本戦略Ⅲ 人的資本価値の向上

■ 持続的な価値創造に向けた人的資本価値の向上

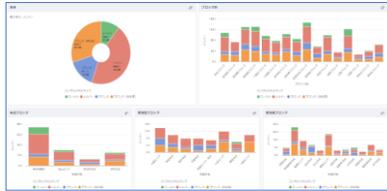
経営戦略を実現する人的資本施策の実践

■ キャリアサポートシステムの活用 (人財情報基盤システム)

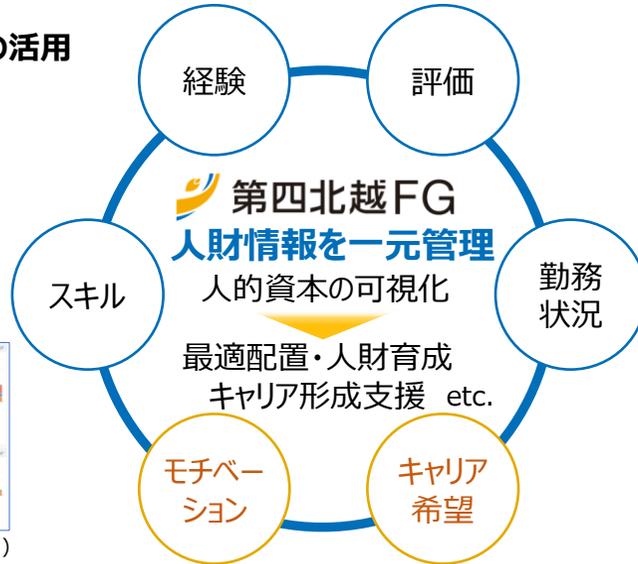
→ 銀行で先行導入
(2024年4月)

Next!

FGグループ各社へ拡大
(2025年4月予定)



(サービス名:「カオナビ」)

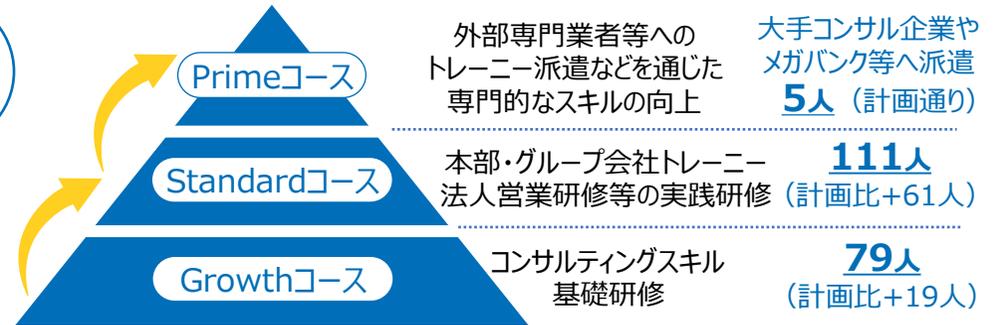


■ 地域・お客さまの課題を解決できる専門性ある人財基盤の強化

■ コンサルティング能力向上に向けた育成プログラム (2024年4月～)

地域創生案件に取り組む
“人的資本価値強化プロジェクト”
での実践

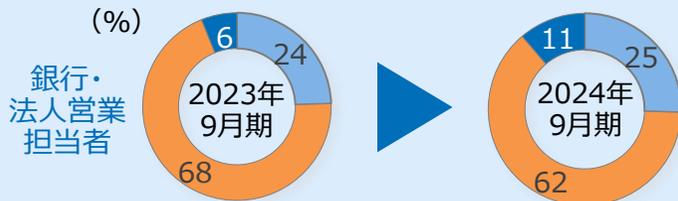
受講者数
(2024年9月期)



■ 「グループ連携人財」の育成・強化

(対応するスキル)

- スキルランク
- スキルレベル1 (グループ各社の商品・サービスの理解が十分)
 - スキルレベル2 (顕在化ニーズにグループ機能を適切に紹介できる)
 - スキルレベル3 (潜在的ニーズにグループ機能を適切に紹介できる)



スキルレベル3
資格保有者
70人
(2023年9月期比
+22人)

■ 「資産運用分野におけるコンサルティング人財」の育成・強化

(主な対応セグメント)

- スキルランク
- ゴールド (法人オーナー・富裕層)
 - シルバー (準富裕層)
 - ブロンズ (資産形成層)
- × 本部専門人員によるサポートも実施



ゴールド
資格保有者
194人
(2023年9月期比
+53人)

基本戦略Ⅲ 人的資本価値の向上

DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) への取り組み強化



第四北越FG

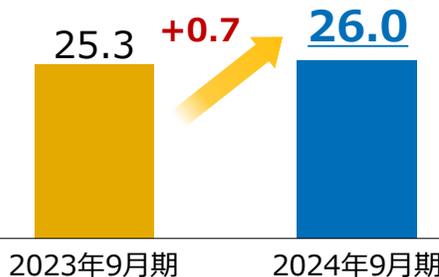
New!

多様な人財の活躍の推進に向けた施策の企画・立案を行う専担部署として「DE&I推進室」を新設 (2024年7月)

第四北越銀行

女性管理職比率 (代理級以上)

(%)



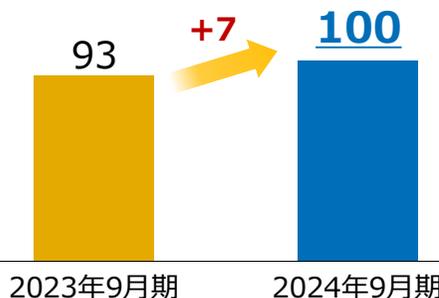
New!

- 育児と仕事の両立支援の強化 (2024年7月)
 - 「育児短時間勤務制度」「育児のための時間外労働の制限」における最長利用期間を子が「小学校に就学する前まで」から「小学校4年生の始期に達するまで」へ延長する制度改定を実施済

第四北越銀行

男性育児休業取得率

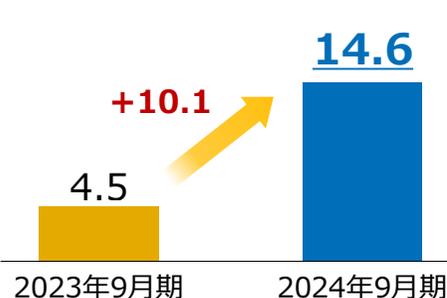
(%)



第四北越銀行

男性育児休業取得日数

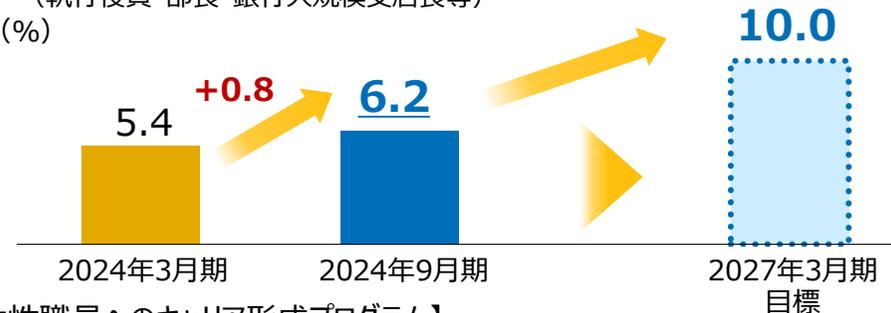
(日)



第四北越FG

女性部長相当職比率目標の設定 (2024年7月)
(執行役員・部長・銀行大規模支店長等)
(%)

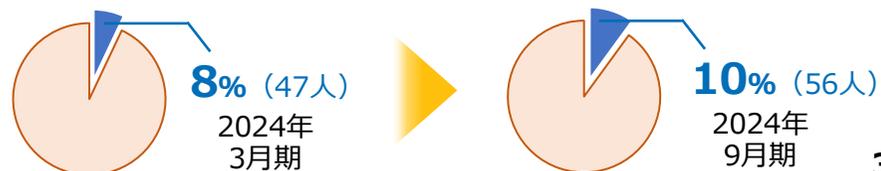
New!



【女性職員へのキャリア形成プログラム】

支援対象	管理職層	女性取締役育成プログラム	長期 選抜	<ul style="list-style-type: none"> 経営層の講話・ディスカッション 社外の女性経営層による講義 重要ポストへの戦略的配置 	法人営業・融資研修
	代理・主任層	女性活躍推進プログラム	中期 募集	<ul style="list-style-type: none"> キャリア研修 外部研修 (TSUBASA・異業種) オンラインビジネススクール受講 キャリアコンサルティング面談 	
共通	「女性職員向け融資基礎研修」等、ビジネスカレッジの開催、オンライン学習ツール募集			DE&I研修	

● 法人営業担当者における女性割合の向上 第四北越銀行



基本戦略Ⅲ 人的資本価値の向上

働きがいや幸福感を実感できる職場環境の整備

経営陣と職員の対話

中期経営計画 説明会

延べ約**8千5百人**が参加
(第二次および第三次中期経営計画)

頭取による管理職向け説明会

“一志交流会”

31回

延べ約**1,500人**参加

(2021年度～累計)



▲“一志交流会Next”の様子

役員との対話交流会

延べ約**700会場**
約**1万8千人**が参加
(2021年度～累計)

頭取による若手職員向け説明会

“一志交流会 Next”

3回

延べ約**100人**が参加

(2021年度～累計)

FG従業員
エンゲージメントスコア
(2023年12月調査)

76.8点
(良好：70点以上)

若手職員による組織横断プロジェクト

- 若手職員を中心に2030年のFGの姿を検討する「**2030プロジェクト**」の取り組み
(2021年度～)

累計**4期生90人**が参加

(2021年度～)



▲“2030プロジェクト”の様子

職場環境づくり・健康経営態勢の強化

健康経営優良法人2024
「ホワイト500」認定取得
(2024年3月)



第四北越FG
第四北越銀行

銀行は
7年連続取得

「プラチナくるみんプラス認定」
取得 (2023年5月)



第四北越銀行

新潟県内で
初取得

「プラチナえるぼし認定」
取得 (2023年5月)



第四北越銀行

新潟県内で
初取得

「スポーツエールカンパニー
2024」取得 (2024年3月)



第四北越銀行

2年連続取得

賃上げ・初任給の引き上げ

- 賃上げ率：**平均6.8%** (ベースアップや昇給等を含む
賃金増額分の実質賃上げ率)
実施日：2024年7月1日
- 大卒初任給：**250,000円 (+30,000円)**
実施予定日：2025年4月1日

第四北越銀行

2年連続実施

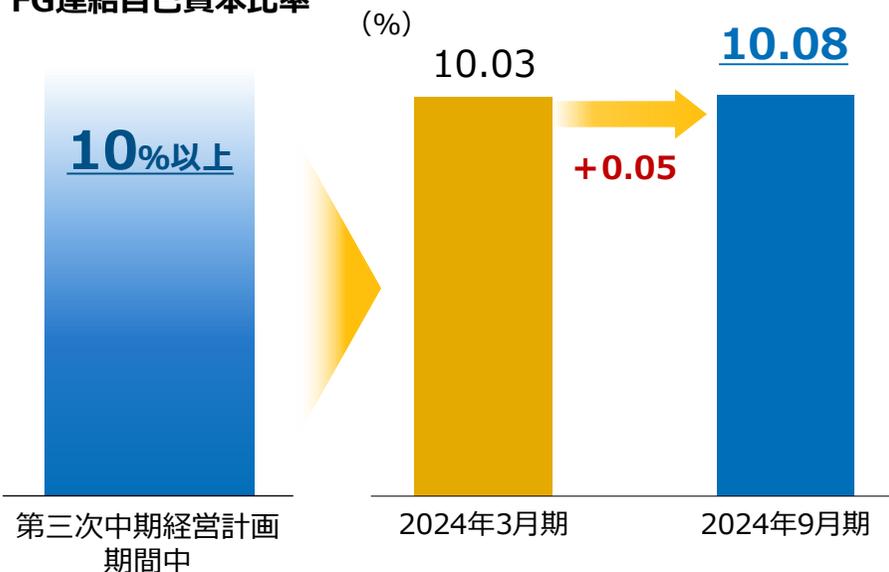
2年連続実施

基本戦略Ⅳ リスクマネジメントの深化

■ 環境変化に対応するリスクマネジメントの実践

健全性の維持・向上

FG連結自己資本比率



基本戦略
I・II

収益力の
強化



基本戦略
IV

リスクアセット
コントロール

→ FG連結自己資本比率は10%以上を目標として
適切なコントロールを実践

地域貢献に向けた
リスクテイクの拡大

→ FIRB移行への取り組み

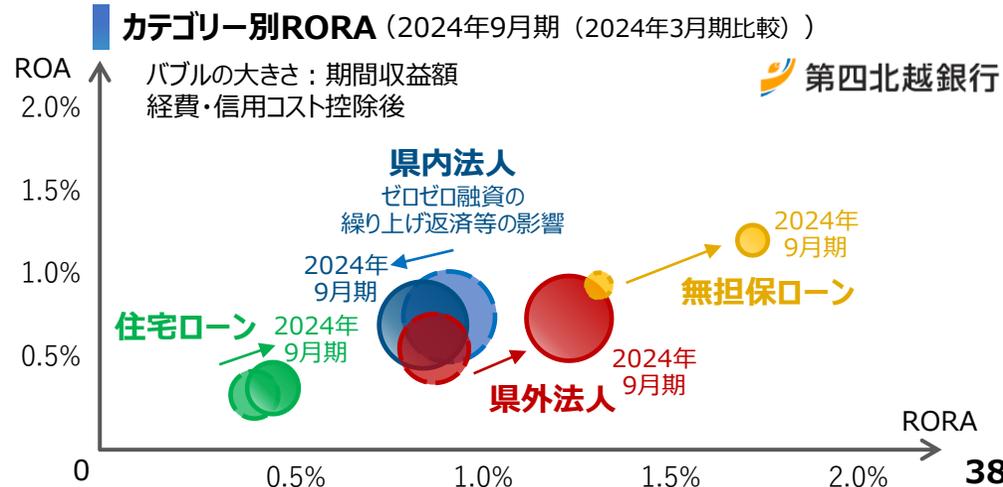
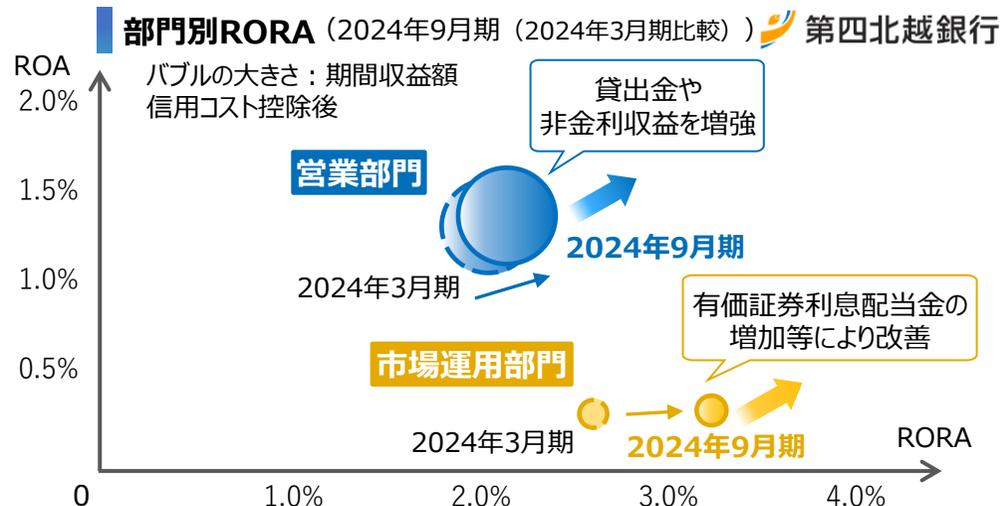
持続的な
成長に向けた
投資

→ 戦略的投資の実行

株主還元の充実
(☞ 詳細はP48)

→ 株主還元方針の見直し

RORA活用に向けた取り組み



全戦略共通のテーマ TSUBASAアライアンスの深化

■ 地銀最大規模の広域連携の枠組み“TSUBASAアライアンス”



参加金融機関 **10行**
(2024/9末時点)

— 主な連携分野 —

営業推進 事務効率化 システム
地域創生 共同化 共通化

市場運用 リスク管理 情報連携 人的資本
価値向上

参加行の総資産残高合計
(2024/9期・連結ベース)

98兆円

etc.

規模のメリットと情報連携の優位性の活用

2015年

TSUBASAアライアンス発足 (2015年10月)

当行・千葉・中国の3行で発足

- T&Iイノベーションセンター(株)設立 (2016年)
- 相続関連業務提携 (2016年)
- 基幹系システム共同化 (2017年)
- 相互顧客紹介業務を通じたビジネスマッチング (2017年)
- 事務部門共同化合意 (当行・千葉) (2018年)
- TSUBASA FinTech共通基盤稼働 (2018年)
- TSUBASA Smile導入 (2018年)
- SDGs宣言 (2019年)
- M&A広域連携 (2019年)



2020年

● 為替デリバティブ分野業務提携 (当行・東邦) (2020年)

- TSUBASAアライアンス(株)設立 (2020年)
- (株)オンアド設立 (当行・千葉・中国) (2022年)
- ダイバーシティ&インクルージョン宣言制定 (2022年)
- TSUBASAクロスメンター制度 (2022年)
- TSUBASA-AMLセンター(株)設立 (2023年)
(当行・千葉・中国・野村総合研究所)
- TSUBASA汎用ペーパーレスシステム導入 (2023年)



▲ TSUBASA(株) ホームページ

2024年

- 基幹系システム共同化は5行に拡大 (当行・千葉・中国・東邦・北洋)
- TSUBASA・じゅうだん会共同研究会への参加
- 2025年大阪・関西万博 (2025年日本国際博覧会) への協賛
- 災害・障害時における日銀ネットの相互利用 (当行・千葉)
- TSUBASA第四北越キャッシュレス加盟店サービス開始

第四北越銀行単体
連携施策によるシナジー効果
(2015/10~2024/9累計)

トプライン シナジー × コスト シナジー

累計
147億円

全戦略共通のテーマ TSUBASAアライアンスの深化

“群馬・第四北越アライアンス” 第四北越銀行 × 群馬銀行

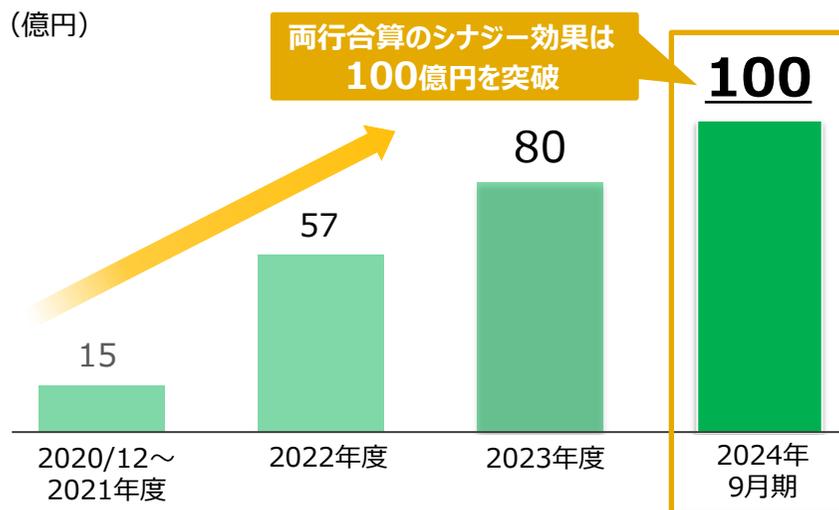


—主な連携分野—



第四北越銀行・群馬銀行 両行合算

連携施策によるシナジー効果 (2020/12～2024/9累計)



商品・サービスの共同企画

■ SDGs私募債「グリーン&フードサポート私募債3」 **New!**

(2024年8月～2025年3月予定)

私募債発行企業様を
資金面でサポート



発行企業様よりいただく手数料の一部を活用して新潟県・群馬県へ食品や金銭等の寄付を実施



今回で
3回目

地域創生・観光振興 **New!**

■ 地域活性化実践研修の実施

(2024年11月～2024年12月予定)

- 地域活性化に向けた両行合同研修会を開催 (オンライン+対面開催)
— 昨年は群馬、今年は新潟をテーマに実施



今回で
2回目

人材育成

■ トレーニーの相互受け入れ等を通じた人材育成

第四北越銀行 ⇄ 人材交流 ⇄ 群馬銀行

- 当行からは群馬銀行の海外拠点 (ニューヨーク支店、ホーチミン事務所) に各1名、合計2名を派遣中。ノウハウ・スキルの共有化を推進中

▲第1回 Web研修会の様子

第三次中期経営計画

サステナビリティへの取り組み

第四北越FGのサステナビリティへの取り組み



DAISHI HOKUETSU

Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

第四北越FG サステナビリティ基本方針 主な取り組み分野

- 1 地域課題への取り組み
- 2 環境問題への取り組み
- 3 社会との信頼関係の確立
- 4 人的資本経営の実践

–これまでの主な取り組み–

2021年度

- 「TCFD提言」への賛同表明
- 「サステナビリティ基本方針」制定
- 「サステナビリティ推進委員会」設置
- 環境省「令和3年度ESG地域金融促進事業」
- 環境省「TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析パイロットプログラム支援事業」

2022年度

- 「環境・社会に配慮した投融資方針」制定
- 「サステナブルファイナンス目標」「CO₂排出量削減目標」設定
- 「2050年カーボンニュートラル宣言」公表
- 「パートナーシップ構築宣言」公表
- 「一般社団法人SDGsにいがた」理事に頭取が就任
- 環境省「令和4年度ESG地域金融促進事業」
- 環境配慮型店舗の導入

2023年度

- 「GXリーグ」への参画
- 「TNFDフォーラム」への参画
- 東京証券取引所「カーボン・クレジット市場」への参画
- 「新潟市J-クレジット普及推進協議会」への参画
- 環境省「令和5年度地域金融機関向けTCFD開示に基づくエンゲージメントプログラム」
- 再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電力の導入

推進体制

サステナビリティ推進委員会
委員長：FG社長

サステナビリティ推進室

地域ビジネス
推進部会

CO₂削減
部会

BCM※1
部会

地政学的
リスク管理部会

FG本部各部

銀行本部各部

グループ各社

–第四北越FGが参加する各種イニシアチブ–



GXリーグ
(2023年5月)



TNFDフォーラム
(2024年2月)



サステナビリティデータ
標準化機構
(2023年8月)

省エネ・地域
パートナーシップ
(2024年7月)

New!

TNFD Adopter
(2024年9月)

気候変動イニシアチブ
(2024年10月)

生物多様性のための
30by30アライアンス
(2024年10月)

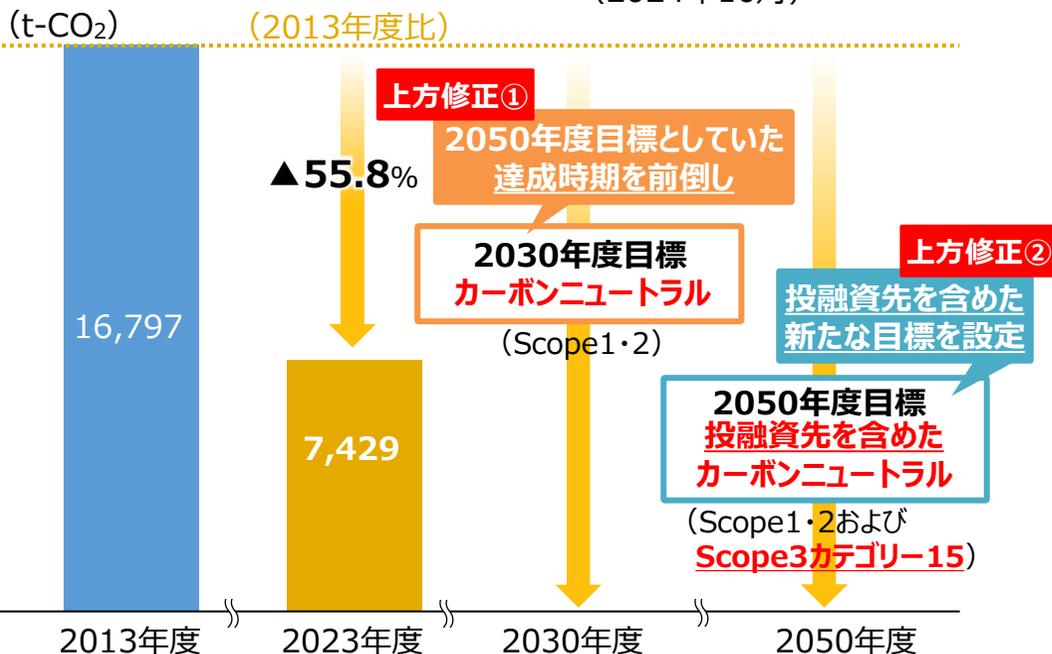
経団連
生物多様性宣言
イニシアチブ
(2024年11月)

第四北越FG 自社の取り組み

■ サステナビリティの実現に向けた第四北越FG 自社の取り組み

CO₂排出量削減目標・実績

■ 削減目標の上方修正 **New!** (2024年10月)



環境配慮型店舗の新設

■ 小千谷支店の新築移転 **New!** (2024年9月)

- 「ZEB Ready」認証取得
- 「壁面太陽光発電設備」・「地中熱を利用した融雪設備」を導入



▲小千谷支店外観

ZEB認証店舗
4店舗目

情報開示の充実に向けた取り組み

■ 気候変動関連の情報開示の充実 **New!**

- Scope3のGHG排出量に関してこれまで開示していたカテゴリ15（投融資）に、カテゴリ6（従業員の出張）・カテゴリ7（従業員の通勤）を追加して開示済（2024年3月期有価証券報告書（6月）等）

■ 開示データの正確性を高める取り組み **New!**

- 2024年3月期に開示したGHG排出量（Scope1、Scope2、Scope3カテゴリ6・7・15）の実績に対して、第三者保証を取得済（9月、ソコテック・サーティファイケーション・ジャパン(株)）
→ 信頼性・透明性の高いデータに基づき、お客さまとのエンゲージメントを進め、脱炭素社会の実現に貢献

知見・ノウハウの吸収に向けた取り組み

■ 東京証券取引所 **New!**

- 「カーボン・クレジット市場」への参加（2024年3月）
→ カーボン・クレジットに関する情報収集・活用に向けた検討



■ CDP「気候変動レポート2023」で「B」スコアを取得

- 上位レベルに向けて取り組みを強化



地域・お客さまの課題解決に向けた取り組み

■ サステナビリティ・SDGsの促進に向けた取り組み

■ サステナブルファイナンス累計実行額

(億円)



■ 商品・サービスの拡充

■ サステナブルファイナンスの商品ラインアップの拡充

- ポジティブ・インパクト・ファイナンス
- サステナビリティ・リンク・ファイナンス
- SDGsリンク・ファイナンス
- SDGsサポートローン
- サステナビリティ・ファイナンス
- SDGsグリーン・ファイナンス
- 地域脱炭素貢献ローン「Biz-Ecology」
- 住宅ローン「ZEH住宅応援プラン」



■ 脱炭素化に向けたご支援

■ 第四北越リース **4年連続採択**

- 環境省「令和6年度ESGリース促進事業」指定リース事業者に採択 (2024年6月)

- 同社を通じて基準を満たす脱炭素機器を導入いただくことで、お客さまはリース料の低減を図ることが可能

取扱実績 (累計)

154 件
19 億円

(2021年6月～2024年9月)

■ 第四北越リサーチ & コンサルティング

- 第四北越SDGsコンサルティングサービス
 - 脱炭素経営導入支援サービス
- (2021年9月～2024年9月)

診断サービス (取組状況診断) コンサルティングサービス (SDGs宣言策定支援等)

累計**3,733**件

累計**231**件



■ 社会課題の解決に向けたご支援

■ 第四北越銀行

- 「地域応援!SDGs私募債」
- (2024年6月～2024年9月)

発行額合計
27 億円

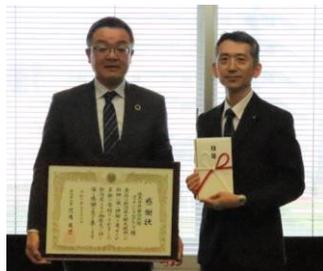


地域・お客さまの課題解決に向けた取り組み

■ 地域への貢献に向けた地域社会とのコミュニケーション

- 観光振興支援を目的とした新潟県への寄付 (2024年9月)  第四北越FG

- 「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を契機として、佐渡の観光振興支援を通じて新潟県経済の発展に寄与するため新潟県へ500万円を寄付



▲贈呈式の様子

- 「紺綬褒章」の受章 (2024年5月)  第四北越銀行

- 昨年夏の深刻な渇水被害を踏まえた新潟県への寄付 (2023年9月) に対して内閣府より褒状を拝受



- 「第四北越奨学会」による奨学金の給付 (1962年～)  第四北越銀行

奨学金支給者数 (累計)

(期間：1963年3月期～
2024年9月期)

1,306人



▲奨学生懇談会の様子 (2024年8月)

- 金融教育活動「だいしほくえつアカデミー」 (2013年～)  第四北越銀行

子どもたちの参加者数 (累計)

(期間：2014年3月期～
2024年9月期)

15,773人



- 森づくり活動 (2009年～)  第四北越FG

- 地域の緑豊かな森を未来へつないでいくための森林保全活動を実施中



- 「第四北越まごころの会」によるボランティア活動 (役職員の自主参加募金組織) (1993年～)  第四北越銀行

- 新潟県内の自然保護ボランティア活動への参加や、地方自治体や環境保護・社会福祉団体への寄付活動を実施中



▲交通安全標語入り懸垂幕の寄贈 (2024年4月)



▲「佐渡トキ保護」ボランティア (2024年9月)

第三次中期経営計画

資本政策

株式分割の実施

■ 投資家層の拡大に向けた株式分割の実施（最低投資金額の引き下げ）

株式分割の実施

効力発生日：2024.10.1

New!

■ 1株につき2株の割合で株式分割

- 当社株式の投資単価あたりの金額（最低投資金額）を引き下げ、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大ならびに株主数のさらなる増加を図る

<分割により増加する株式数>

株式分割前の発行済株式総数	45,942,978株
株式分割により増加する株式数	45,942,978株
株式分割後の発行済株式総数	91,885,956株
株式分割後の発行可能株式総数	200,000,000株

株主優待制度の拡充

変更日：2024.10.1

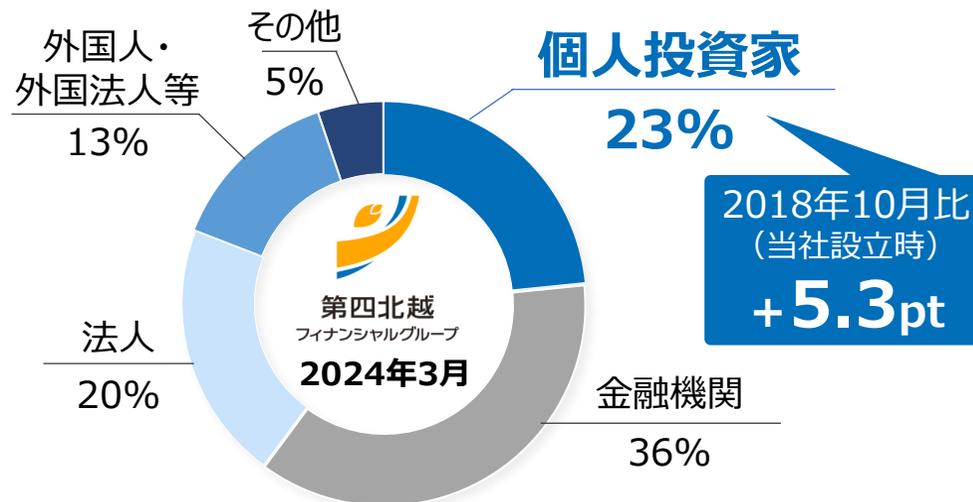
New!

■ 株式分割後の最低投資単位（100株）における株主優待を新設

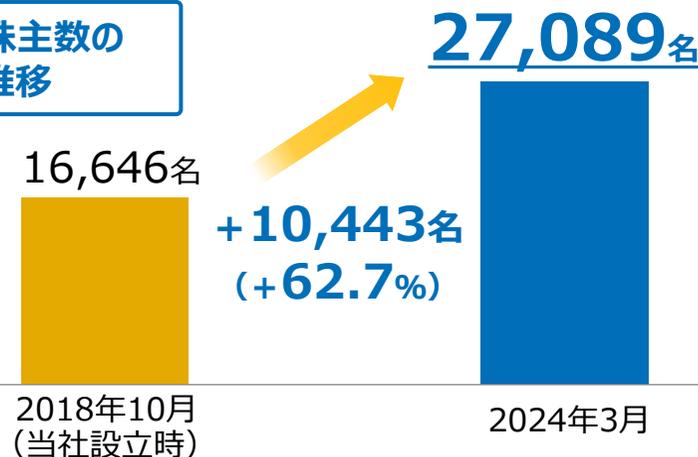
変更前		変更後	
-	-	100株以上 200株未満	1,000円相当の 新潟県内産品
100株以上 1,000株未満	2,500円相当の カタログギフト	200株以上 2,000株未満	2,500円相当の カタログギフト
1,000株以上	6,000円相当の カタログギフト	2,000株以上	6,000円相当の カタログギフト

株主構成 (所有株式数の割合)

- 発行済株式総数：45,942,978株
- 2024年3月末株主数：28,975名



個人株主数の 推移



株主還元方針の変更

■ 株主還元方針の変更 (2024年11月)

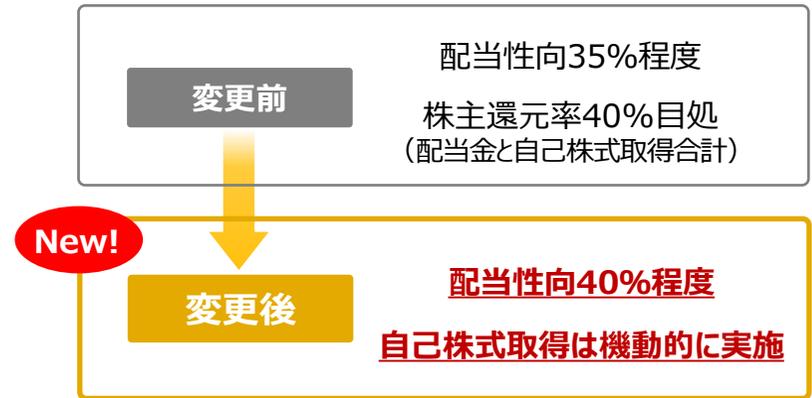
第四北越フィナンシャルグループ 株主還元方針

金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

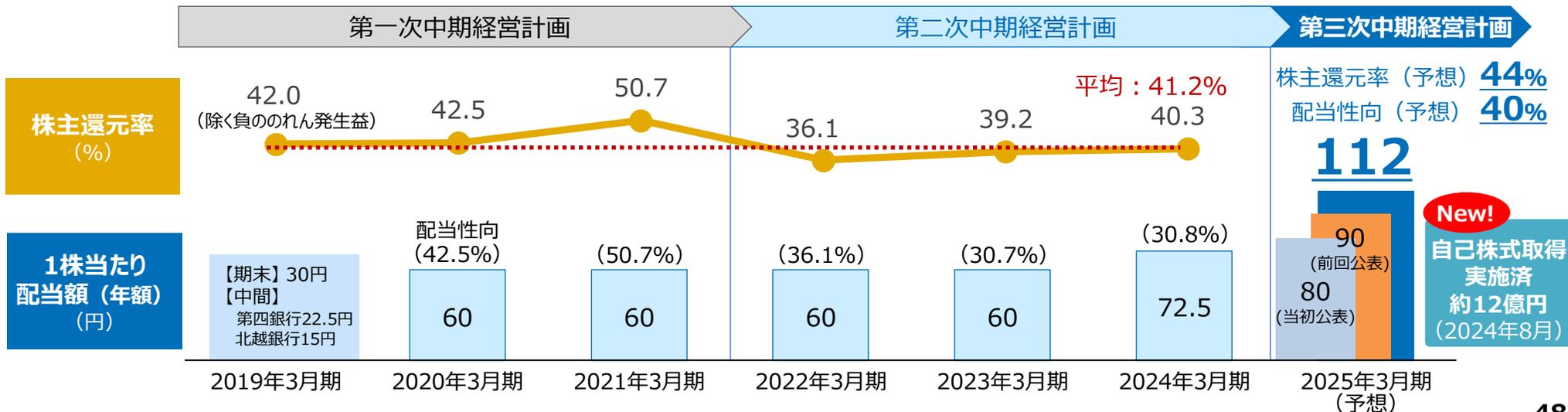
具体的には、1株当たり配当金は原則として累進的とし、**配当性向は40%程度とします。自己株式の取得は業績や市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に実施します。**

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に5%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。

変更



■ 2025年3月期配当金予想 増配予想 **New!** ※ 1株当たり配当額（年額）：2024年10月1日に実施した株式分割を踏まえ、過去に遡り株式分割後の配当額に換算



2024年9月期 会社説明会資料

2024年11月



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

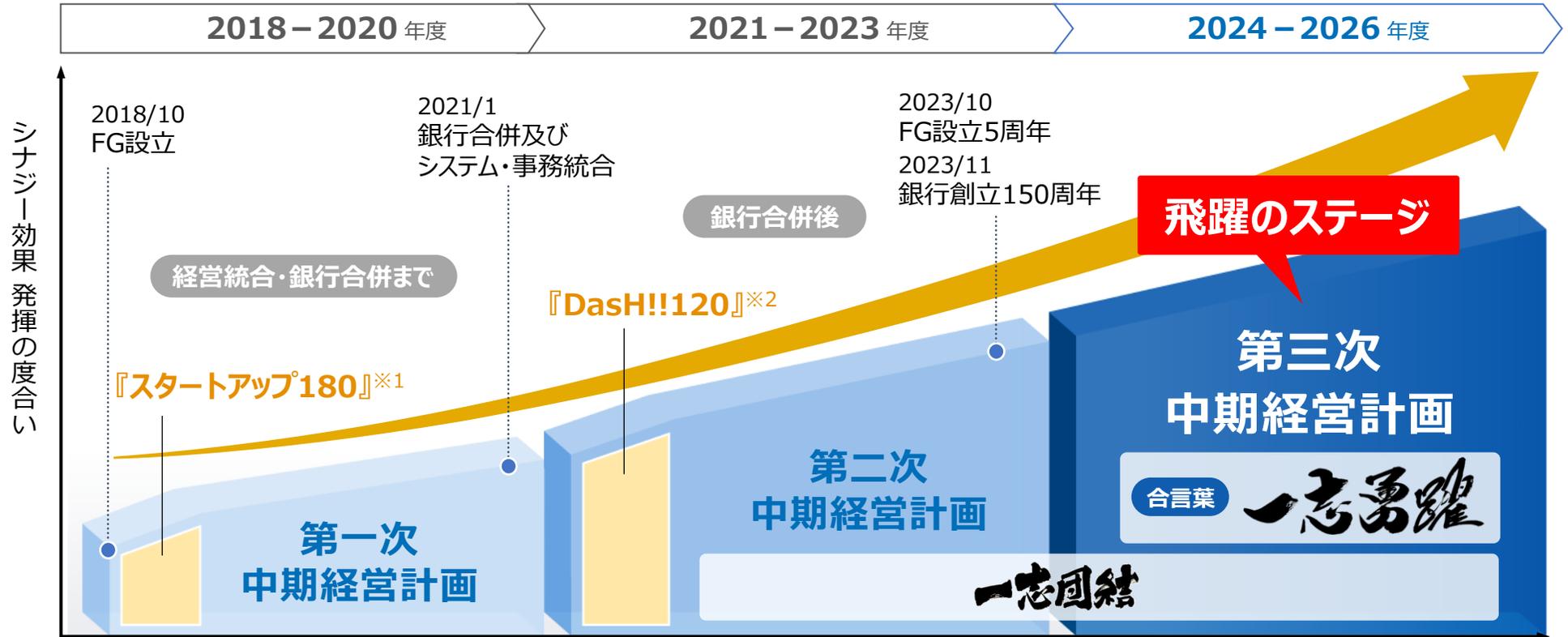
第四北越フィナンシャルグループ

証券コード 7327

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

新・中期経営計画「第三次中期経営計画」

飛躍のステージ「第三次中期経営計画」



【各計画期間における基本姿勢】



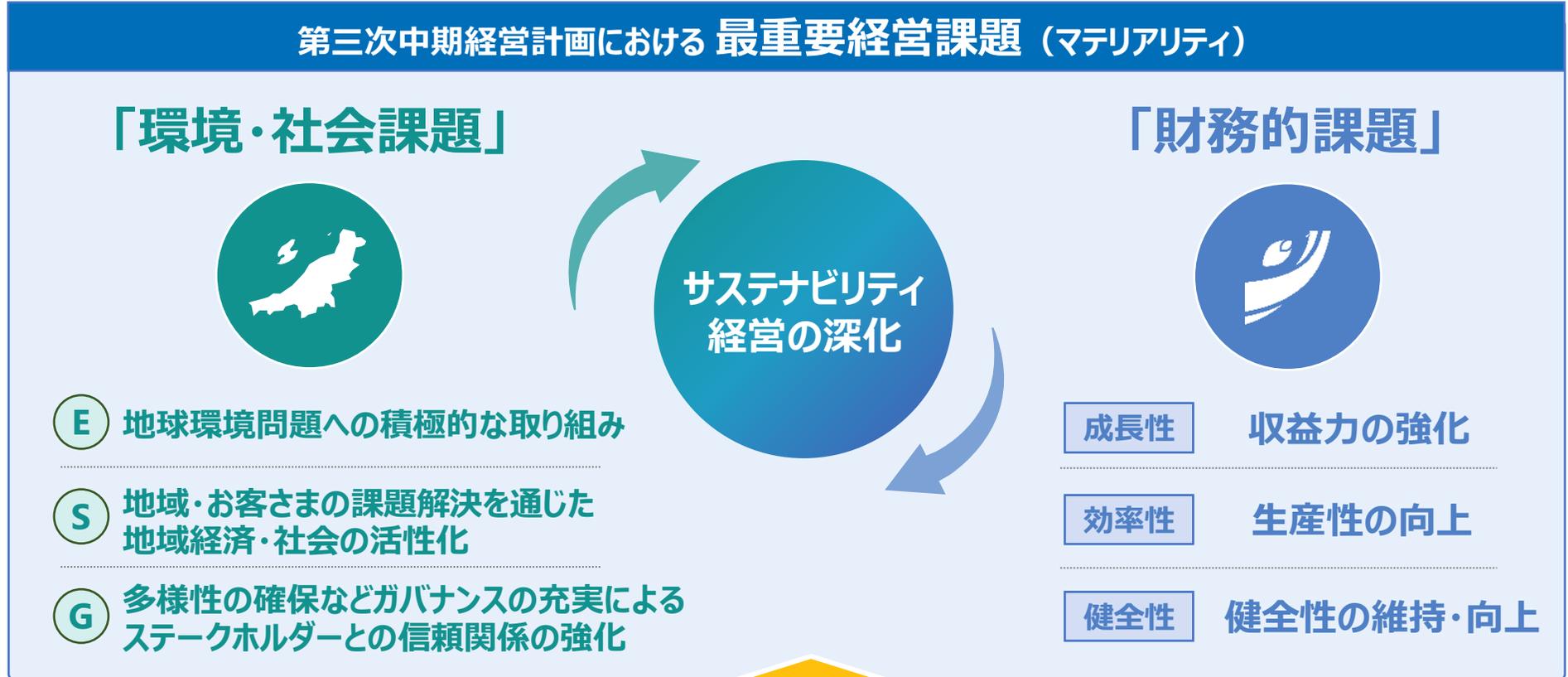
※1：経営統合によるシナジー効果の発揮に向けて諸施策を迅速かつ集中的に実施した期間（180日間）

※2：銀行合併によるシナジー効果の早期発揮に向けた最重要活動期間として諸施策を迅速かつ集中的に実施した期間（120日間）

第三次中期経営計画における最重要経営課題（マテリアリティ）

■ サステナブルな成長の実現に向けて最重要経営課題を解決

- 「環境・社会課題」と「財務的課題」の双方の課題を解決し、地域と当社が持続的に成長する好循環を目指すサステナビリティ経営に取り組む



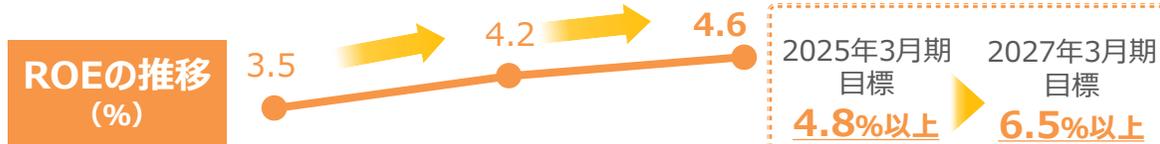
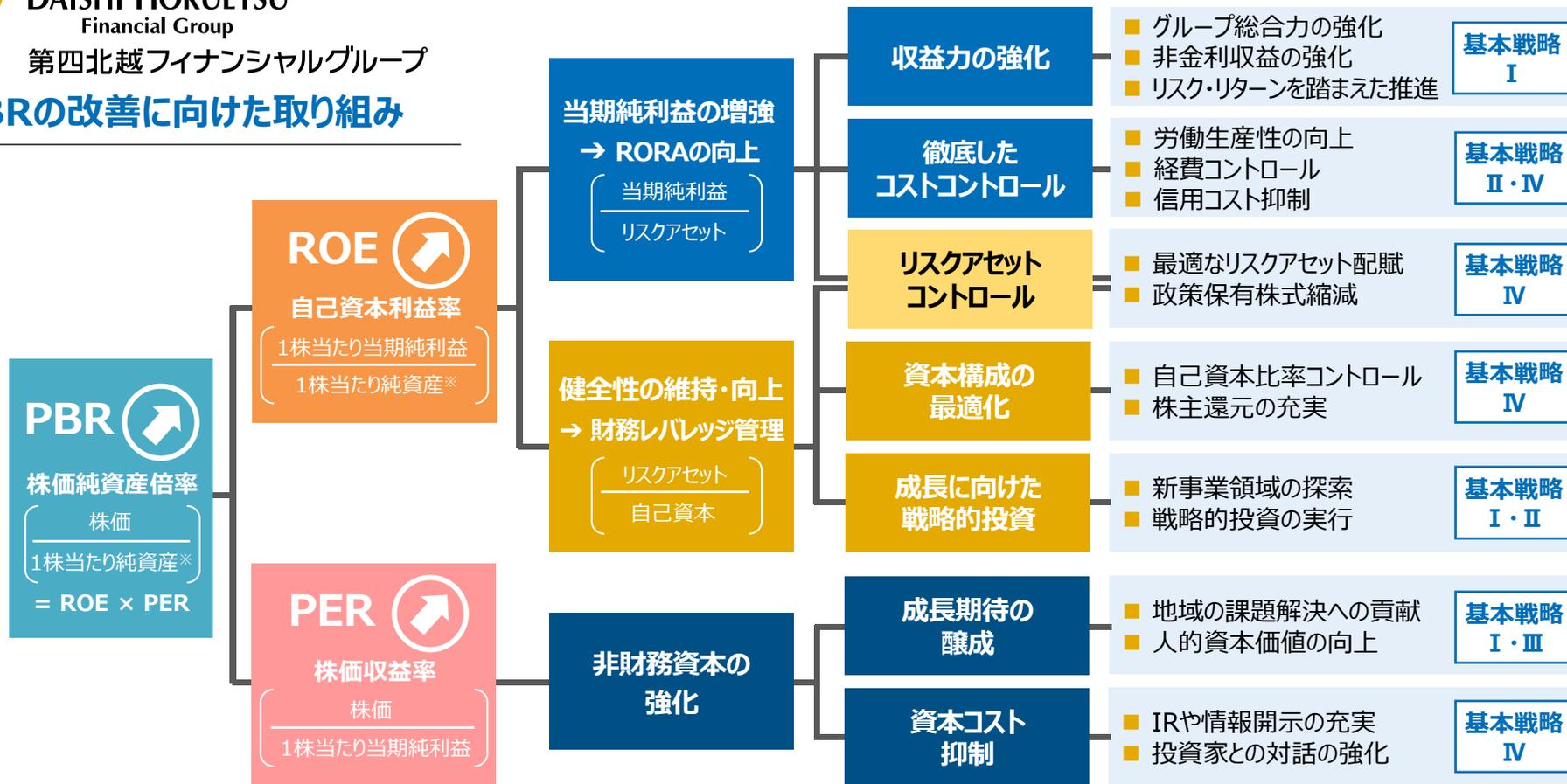
複雑性・不確実性を増しながら大きく変化

<p>取り巻く 経営環境の 変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少・少子高齢化の進行 ● DXによる社会・産業構造の変化 ● Web・オンライン化・キャッシュレス進展 ● 人々の生活様式・消費行動の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル化の加速 ● 規制緩和 ● 異業種による金融業界への参入 	<ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラル加速化 ● サステナビリティ経営の重要性の高まり ● 地政学的リスクのさらなる高まり ● 日米欧金融政策の転換 etc.
-------------------------------------	---	---	--

第三次中期経営計画の実践による企業価値の向上

DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ
PBRの改善に向けた取り組み

第三次中期経営計画の確実な実践



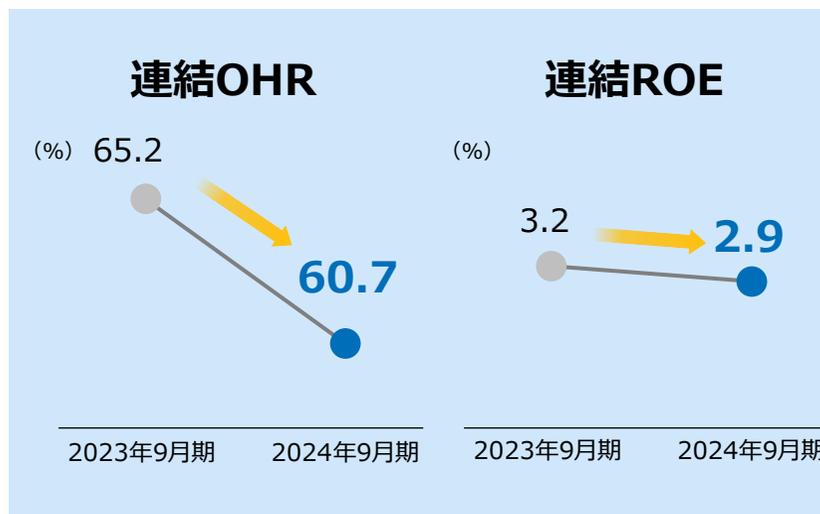
2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

※純資産額 (期首・期末平均、除く非支配株主持分)

第三次中期経営計画 経営指標

「財務的課題」に関する経営指標 (KPI)		2023年9月期 実績	2024年9月期 実績	前年同期比	2025年3月期 年間計画
収益力の強化	連結当期（中間）純利益※1	138億円	146億円	8億円	250億円
生産性の向上	連結OHR	65.2%	60.7%	▲4.5pt	64%台
	連結ROE	3.2%	2.9%	▲0.3pt	4.8%以上
健全性の維持・向上	連結自己資本比率	10.21%	10.08%	▲0.13pt	10%以上



※1：親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

第三次中期経営計画 経営指標

「環境・社会課題」に関する経営指標 (KPI)	2024年9月期	目標比	2025年3月期
	実績		目標
E 地球環境問題への積極的な取り組み			
CO2排出量削減率 (2013年度比・年間見込)	65.8%	6.6%	59%台
サステナブルファイナンス実行額 (2021年度以降の累計)	5,894億円	585億円	6,500億円
S 地域・お客さまの課題解決を通じた地域経済・社会の活性化			
創業・事業承継支援件数	1,418件	73件	2,850件
DX・生産性向上支援件数	70件	35件	75件
経営指標等が改善した取引先割合	74.6%	▲0.4%	75%以上
経営改善計画策定支援件数	249件	19件	420件
デジタル顧客数※1	39.5万先	0.1万先	45万先
グループ預かり資産残高	14,619億円	304億円	14,790億円
販路開拓支援先数 (地域商社) ※2	686先	8先	720先
人材ソリューション支援件数	133件	40件	190件
G 多様性の確保などガバナンスの充実によるステークホルダーとの信頼関係の強化			
女性管理職比率※3	26.06%	0.06%	26%以上
グループ総取引先数※4	61,267先	340先	62,700先

※1：だいしほくえつID保有者（りとるばんく・マイページの利用者等）および個人eネットバンキング利用者数

※2：2019/10の日本橋店舗開設以降の累計

※3：女性管理職（代理級以上）比率（銀行単体） ※4：FGグループ各社と経常的に取引いただいている法人先数（延べ数）

2024年9月期決算 概要 (損益の状況)

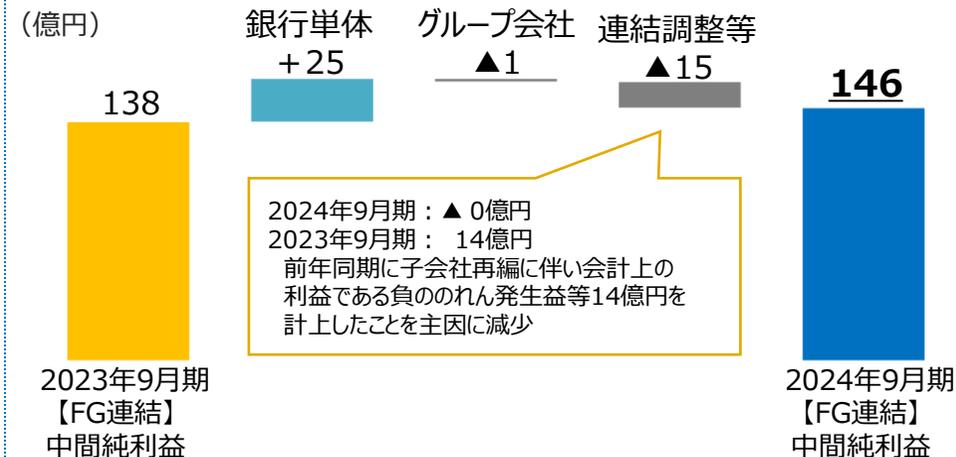
FG連結 (億円)	2024年9月期		業績予想	
	決算	前年同期比	(2024/5公表)	業績予想比
1 経常利益	204	27	150 (200 ※1)	54 (4 ※1)
2 中間純利益※2	146	8	105 (142 ※1)	41 (4 ※1)

※1 2024年7月公表の上方修正後の業績予想比
 ※2 親会社株主に帰属する中間純利益

グループ会社 (億円)	2024年9月期		2023年9月期
	決算	前年同期比	決算
3 中間純利益※3	16	▲1	18

※3 銀行を除くグループ会社の親会社株主に帰属する中間純利益の合計

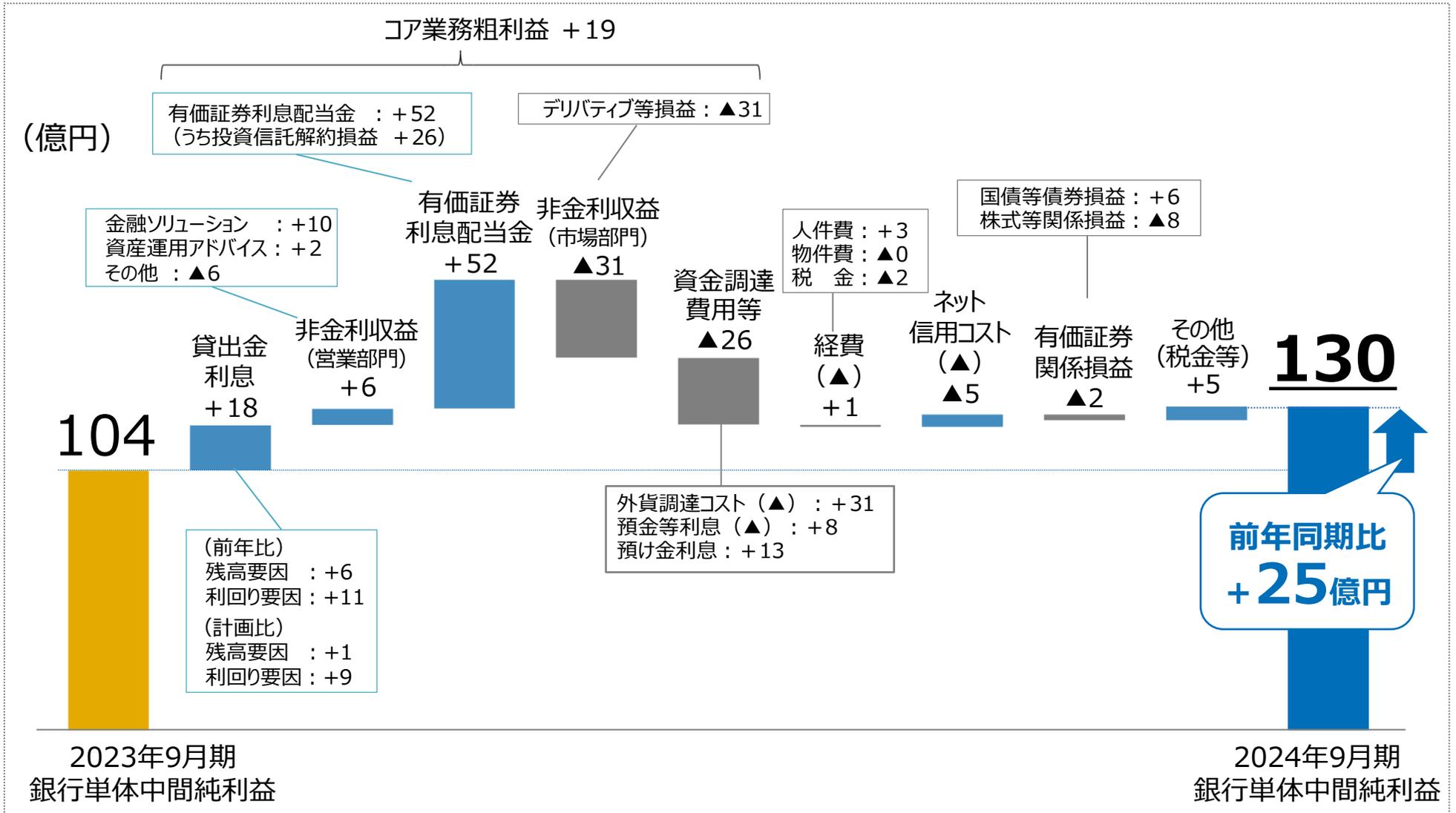
<FG連結> 増減要因



銀行単体(億円)	2024年9月期		2023年9月期
	決算	前年同期比	決算
4 業務粗利益	454	25	428
5 (コア業務粗利益)	479	19	460
6 資金利益	360	43	316
7 (うち貸出金利息)	260	18	242
8 (うち有価証券利息配当金)	237	52	185
9 (うち資金調達費用) (▲)	207	45	161
10 役務取引等利益	73	▲0	74
11 その他業務利益	19	▲17	36
12 (除く国債等債券損益)	45	▲23	68
13 (うち国債等債券損益)	▲25	6	▲31
14 経費 (▲)	292	1	291
15 実質業務純益	161	24	137
16 コア業務純益	187	18	169
17 (除く投資信託解約損益)	161	▲8	169
18 業務純益	163	24	138
19 臨時損益	17	6	10
20 経常利益	180	31	149
21 特別損益	2	2	▲0
22 中間純利益	130	25	104
23 <ネット信用コスト> (▲)	16	▲5	21
24 <有価証券関係損益>	▲12	▲2	▲9

2024年9月期決算 概要 (損益の状況)

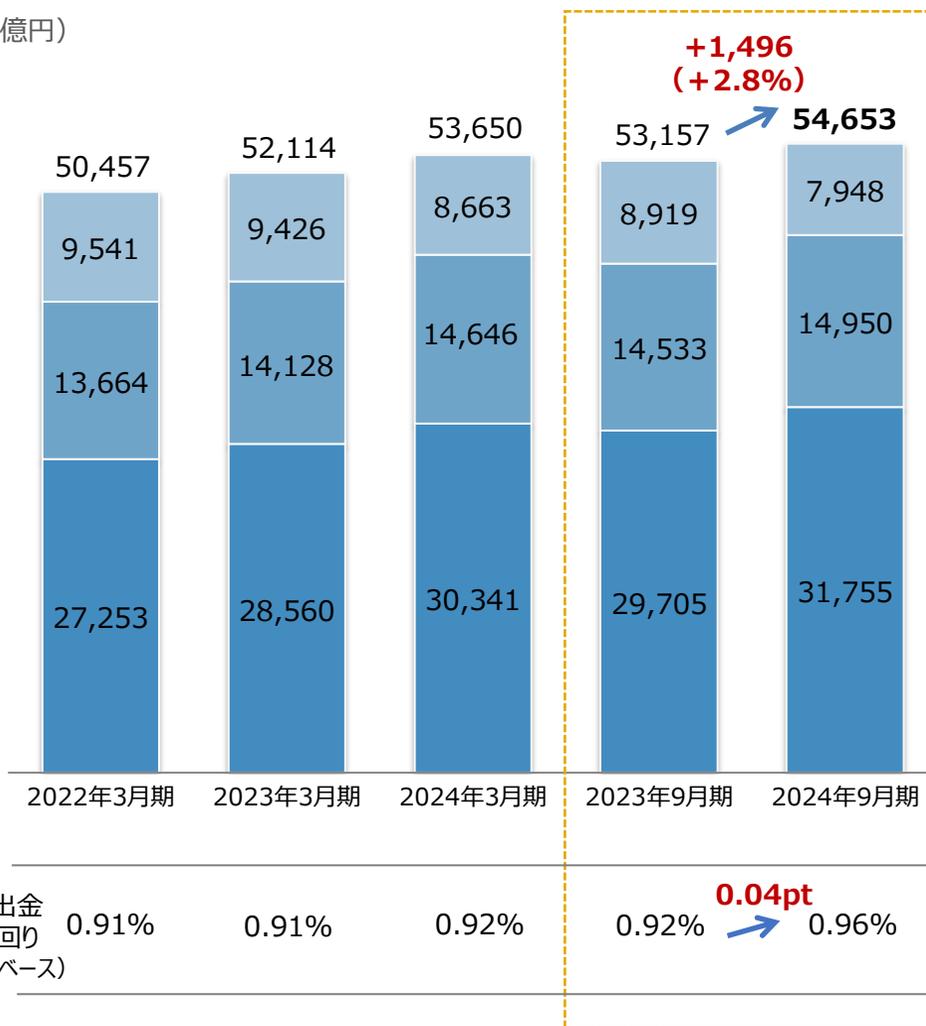
<銀行単体> 増減要因  第四北越銀行



貸出金残高（平残） ※部分直接償却前

■ 事業性 ■ 消費性 ■ 公金・金融

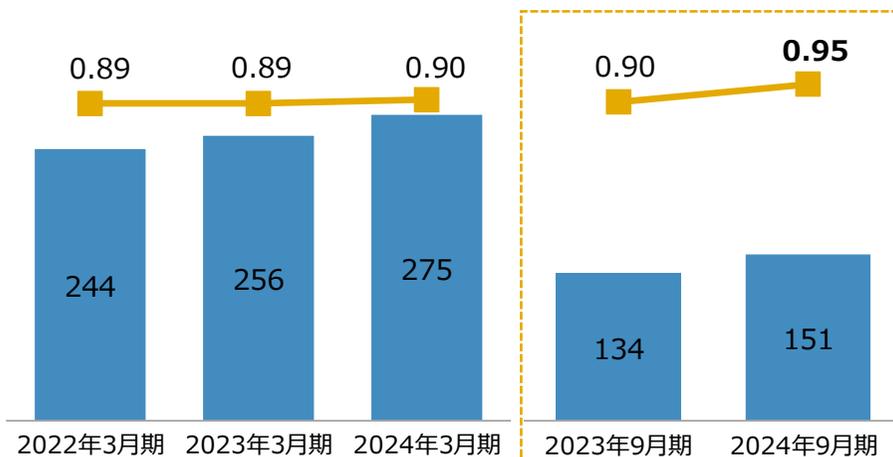
(億円)



事業性貸出金利息・利回り ※不計上利息考慮前

※不計上利息考慮前

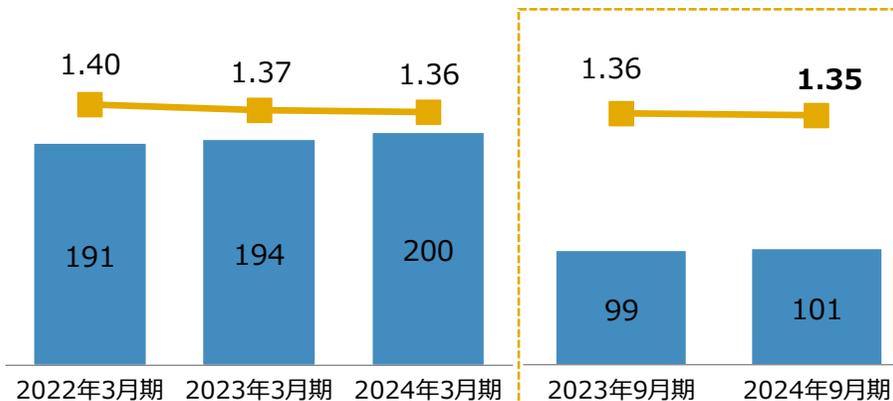
■ 利息 (億円) ■ 利回り (%)



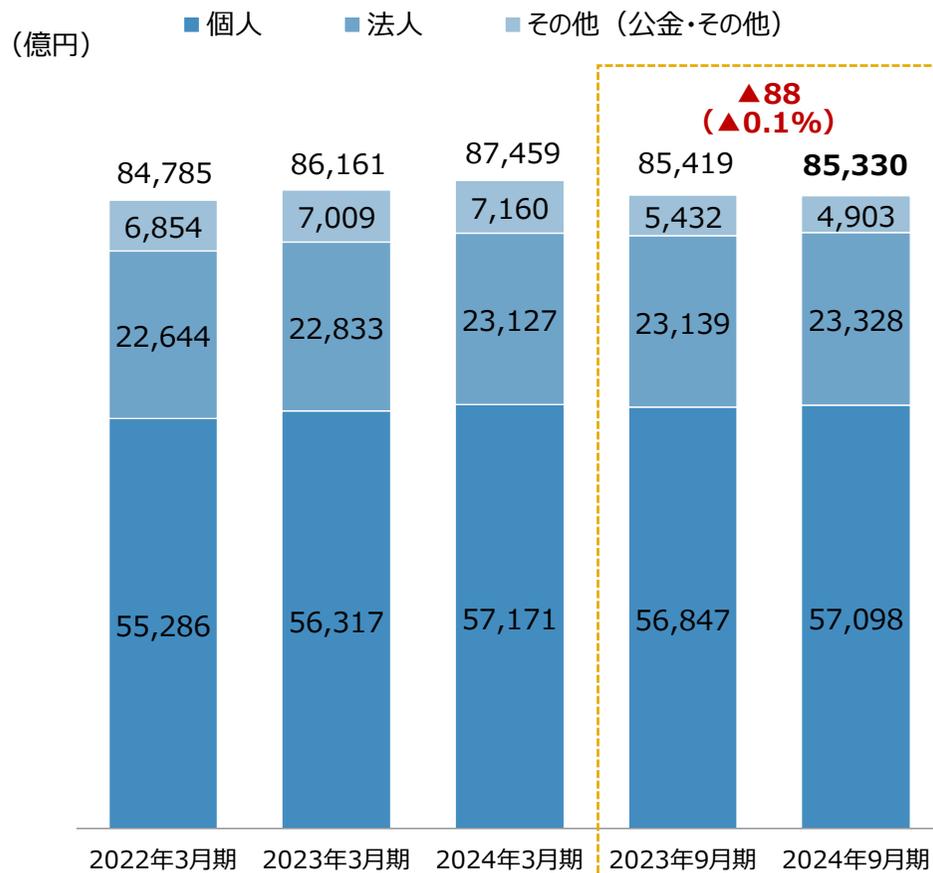
消費性貸出金利息・利回り ※不計上利息考慮前

※不計上利息考慮前

■ 利息 (億円) ■ 利回り (%)

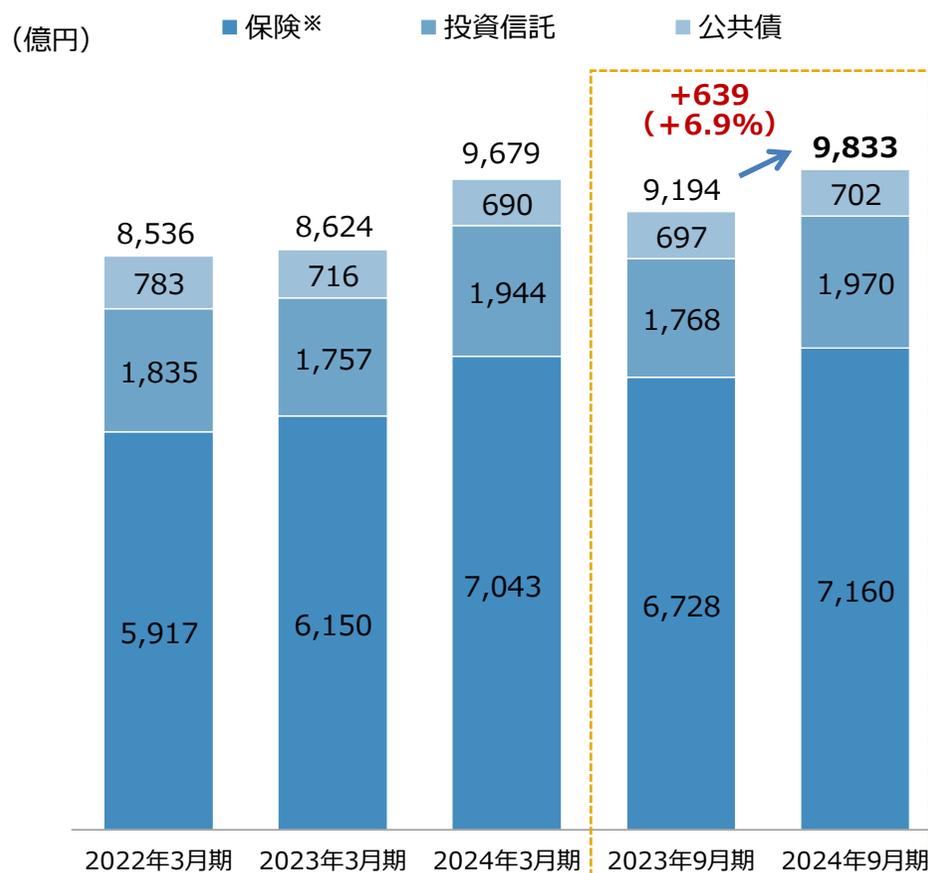


預金等（含む譲渡性預金）残高（末残）



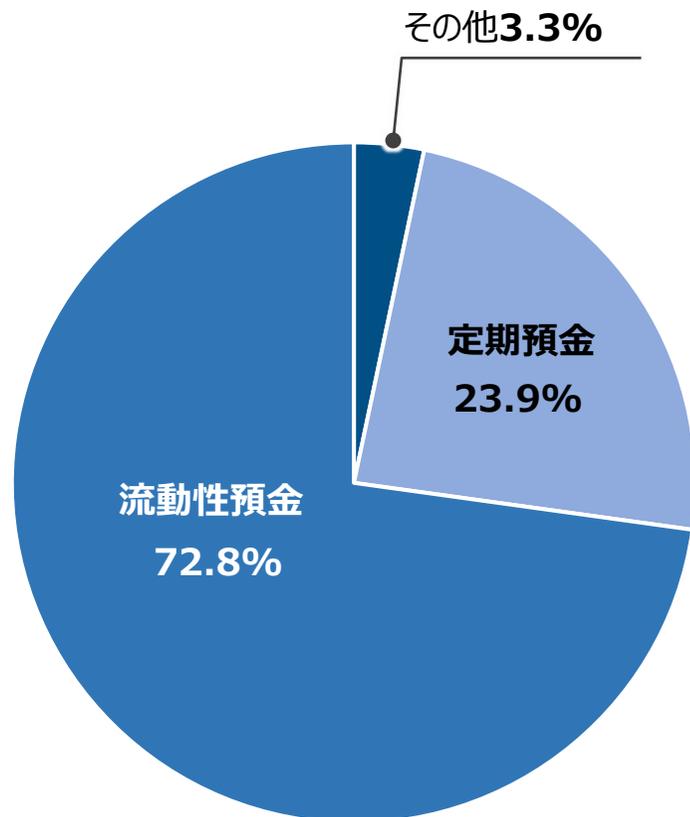
【参考】
平均残高 82,749 84,777 85,773 86,139 → 86,644
+505
+0.5%

預かり資産残高（末残）



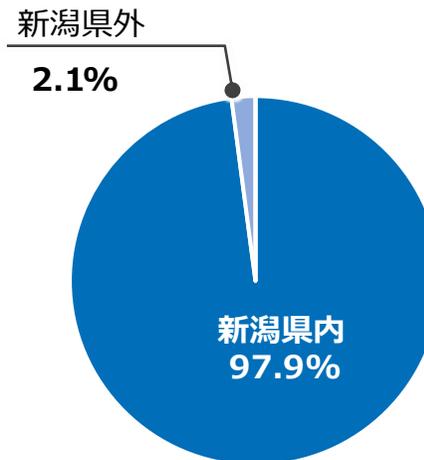
【参考】
預金等残高と
預かり資産残高
の合計（末残） 93,322 94,786 97,139 94,613 → 95,163
+550
+0.5%

預金等の構成 2024年9月末

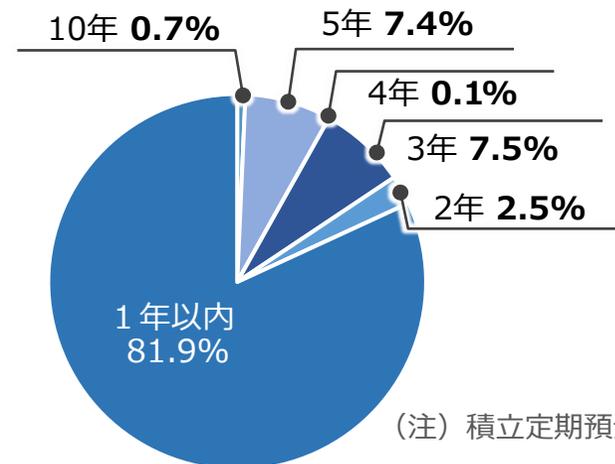


(注) 外貨預金除く

預金等残高における地域別割合 2024年9月末

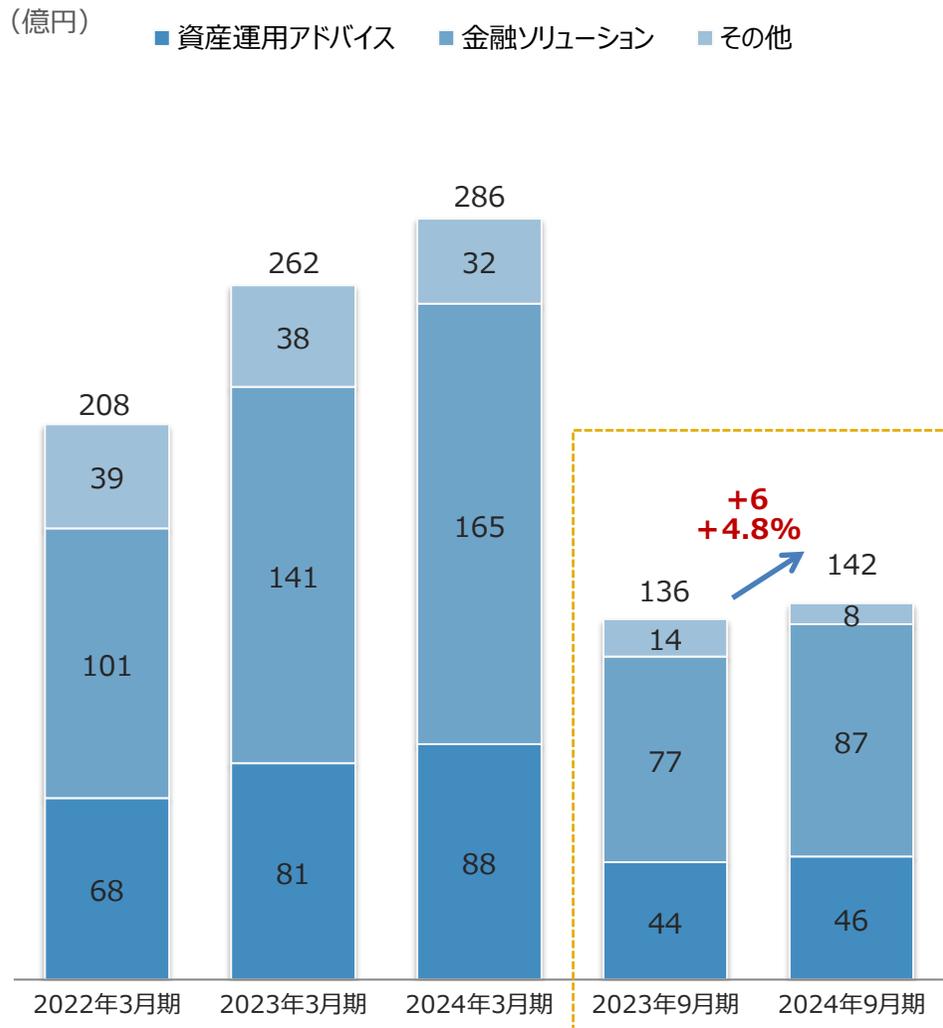


定期預金の構成 2024年9月末

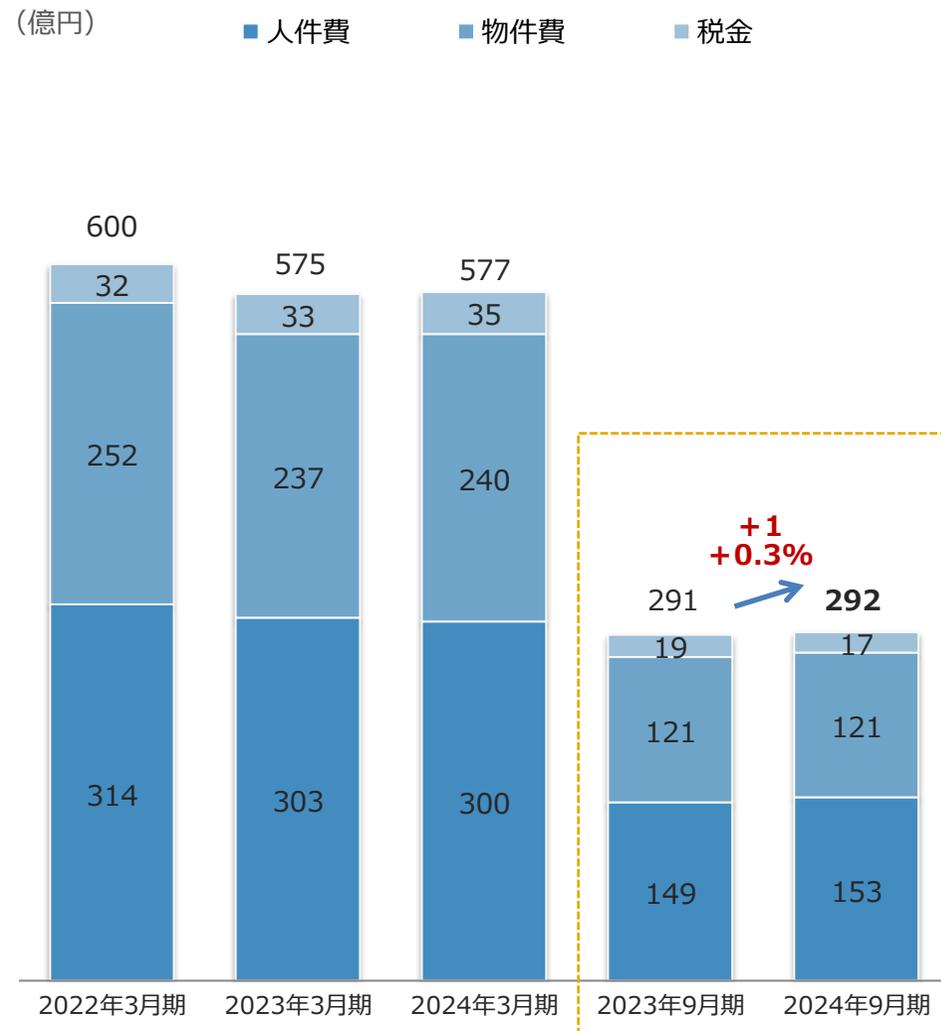


(注) 積立定期預金等除く

非金利収益 ※



経費

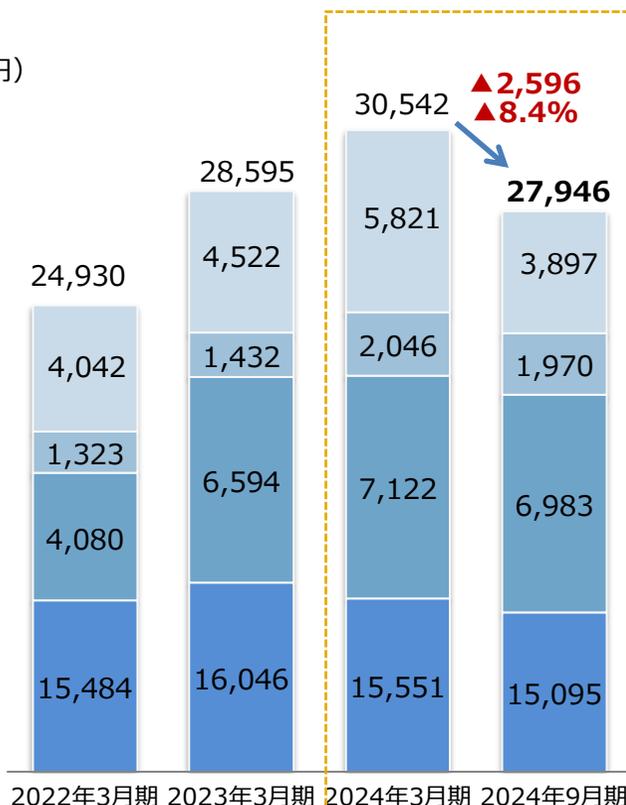


※ 役務取引等利益及び国債等債券損益を除くその他業務利益等の合計額
(除く外貨調達コスト・市場運用部門収益)

有価証券残高（未残）

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2024年9月期

利回り 0.70% 1.09% 1.39% 1.62%

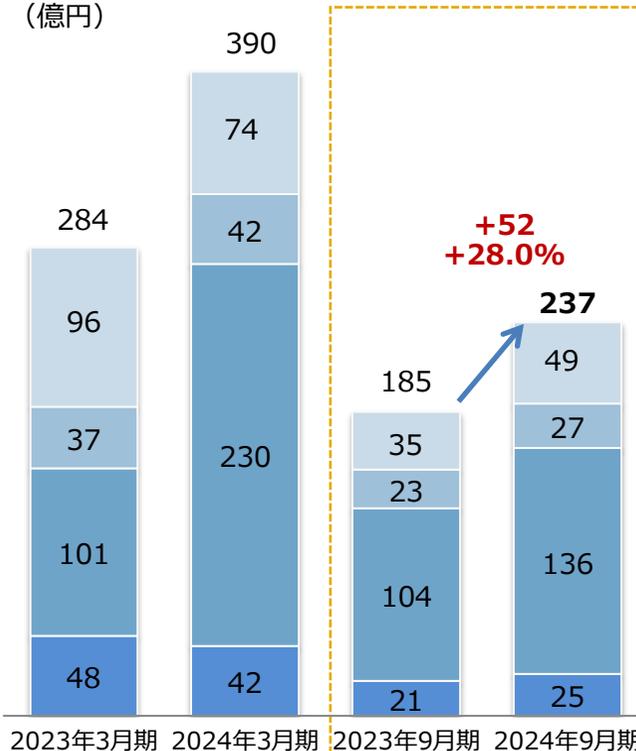
デュレーション (円債) 5.82年 5.67年 4.63年 4.35年
(外債) 5.11年 2.94年 2.86年 2.46年

※デュレーションは金利スワップによるヘッジ考慮後で算出

有価証券利息配当金

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



2023年3月期 2024年3月期 2023年9月期 2024年9月期

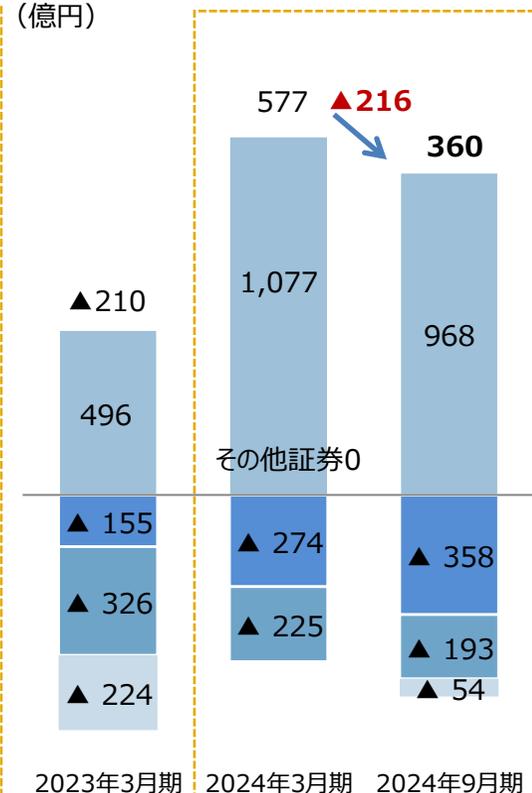
計画比 +57 +10 +10 +38

※計画比は外貨調達等コスト考慮後で表示

評価損益

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



2023年3月期 2024年3月期 2024年9月期

国内金利の上昇および株価の下落を主因に、前年度末比▲216億円の+360億円

※国内債券及び外国証券については、金利スワップによる繰延ヘッジ考慮後の評価損益

有価証券残高（未残）の推移

(億円)

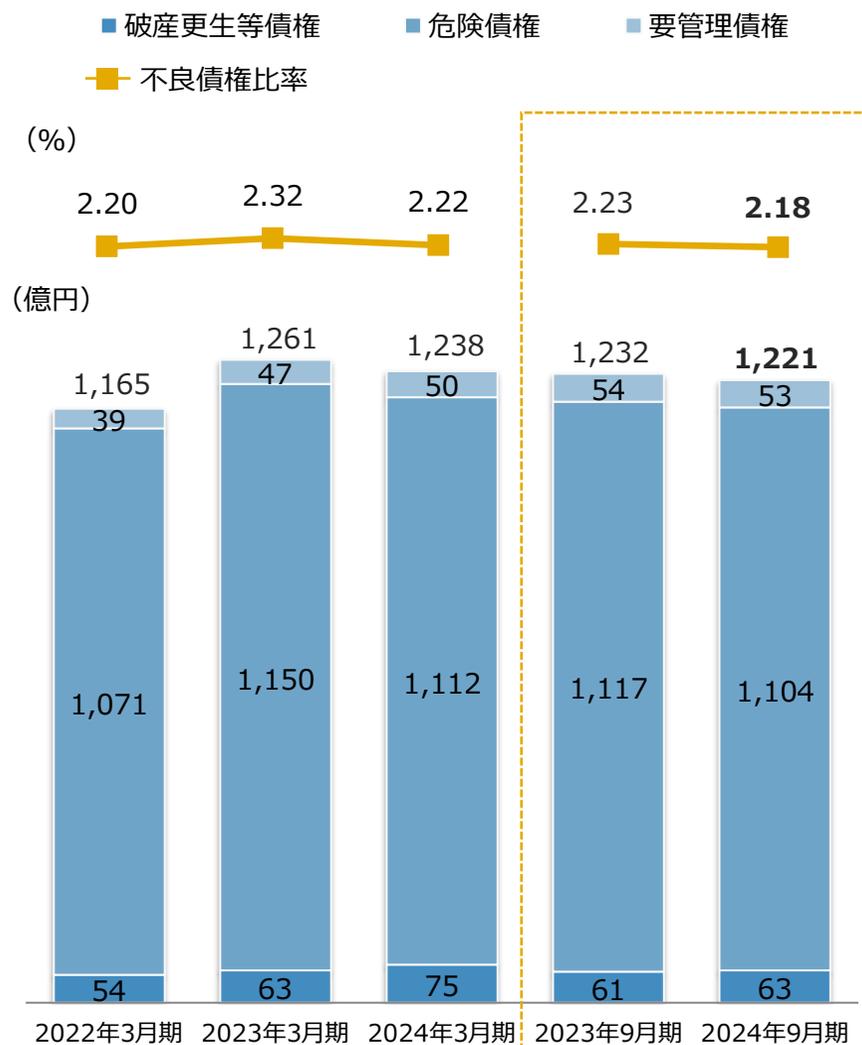
	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2024年 9月期
国債	5,536	6,030	5,626	5,422
地方債	7,247	7,682	8,065	8,066
公社公団債	713	654	578	535
金融債	27	20	0	0
事業債	1,958	1,658	1,281	1,071
株式	1,323	1,432	2,046	1,970
外国証券	4,080	6,594	7,122	6,983
その他証券	4,042	4,522	5,821	3,897
合計	24,930	28,595	30,542	27,946

有価証券残高増減内訳
(2024年3月末比)

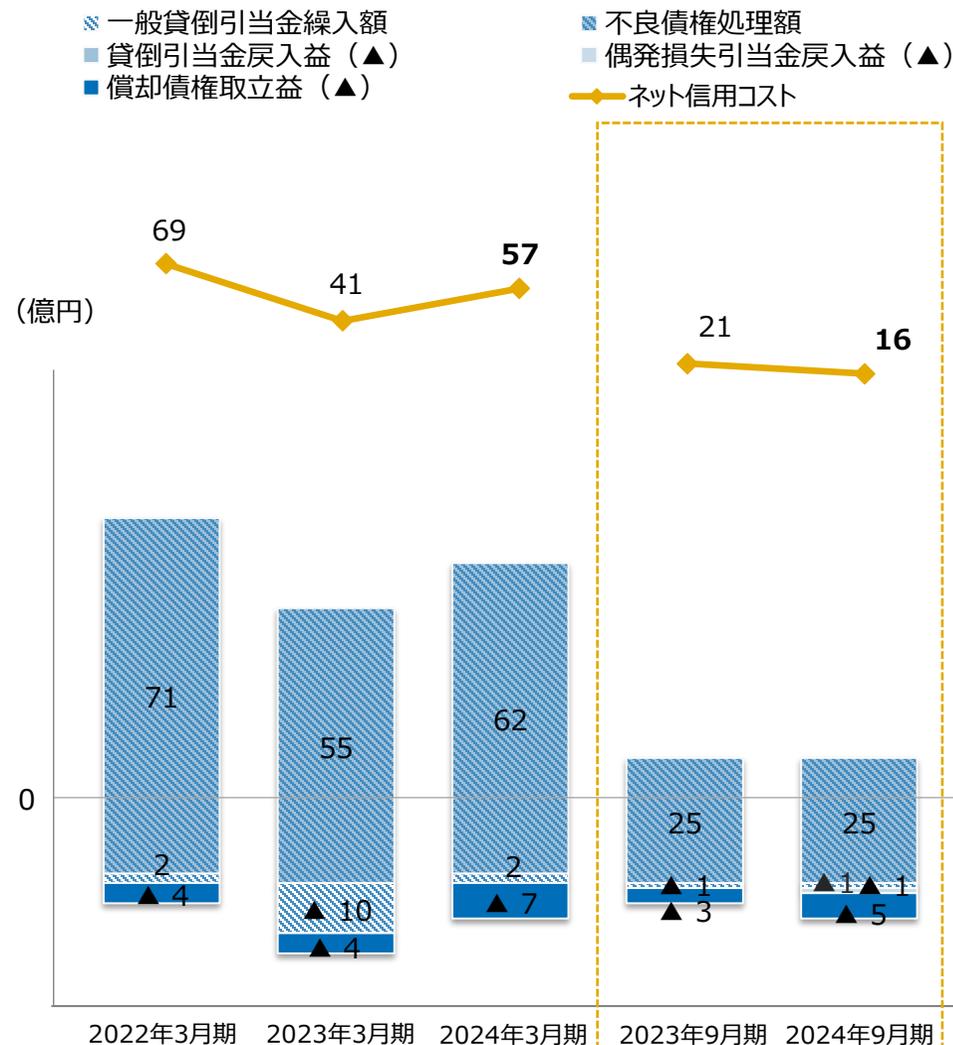
(億円)

国内債券（利回り：0.31%）	▲456
購入	1,211
売却	▲1,007
その他（償還・時価要因等）	▲659
株式（利回り：5.42%）	▲76
購入	86
売却	▲53
その他（償却・時価要因等）	▲109
外国証券（利回り：3.41%）	▲139
購入	1,397
売却	▲1,391
その他（償還・時価要因等）	▲144
その他証券（利回り：2.35%）	▲1,924
購入	1,782
売却	▲3,644
その他（償還・時価要因等）	▲62

不良債権比率と不良債権額



ネット信用コスト



(単位：億円)	2024年9月期			2025年3月期 下半期 (計画)
	配賦資本額	リスク量 (実績)	使用率	配賦資本額
配賦資本	3,443	1,157	33.6%	3,450
信用リスク (貸出金)	430	249	58.0%	430
市場リスク	2,150	751	34.9%	2,250
政策投資株式リスク	45	27	60.3%	45
オペレーショナル・リスク	130	129	99.7%	135
ストレス事象対応資本 (急激な環境変化を想定して 確保している資本)	688	0	0.0%	590
リスクバッファー (未配賦資本)	210	0	0.0%	278
配賦原資 (貸倒引当金控除後)	3,653	—	—	3,728

リスク量の算定方法

● 市場リスク、信用リスク、政策投資株式リスク

□ 信頼区間：全て99%

□ 保有期間：貸出金1年、貸出金以外6ヶ月

□ 政策投資株式については、

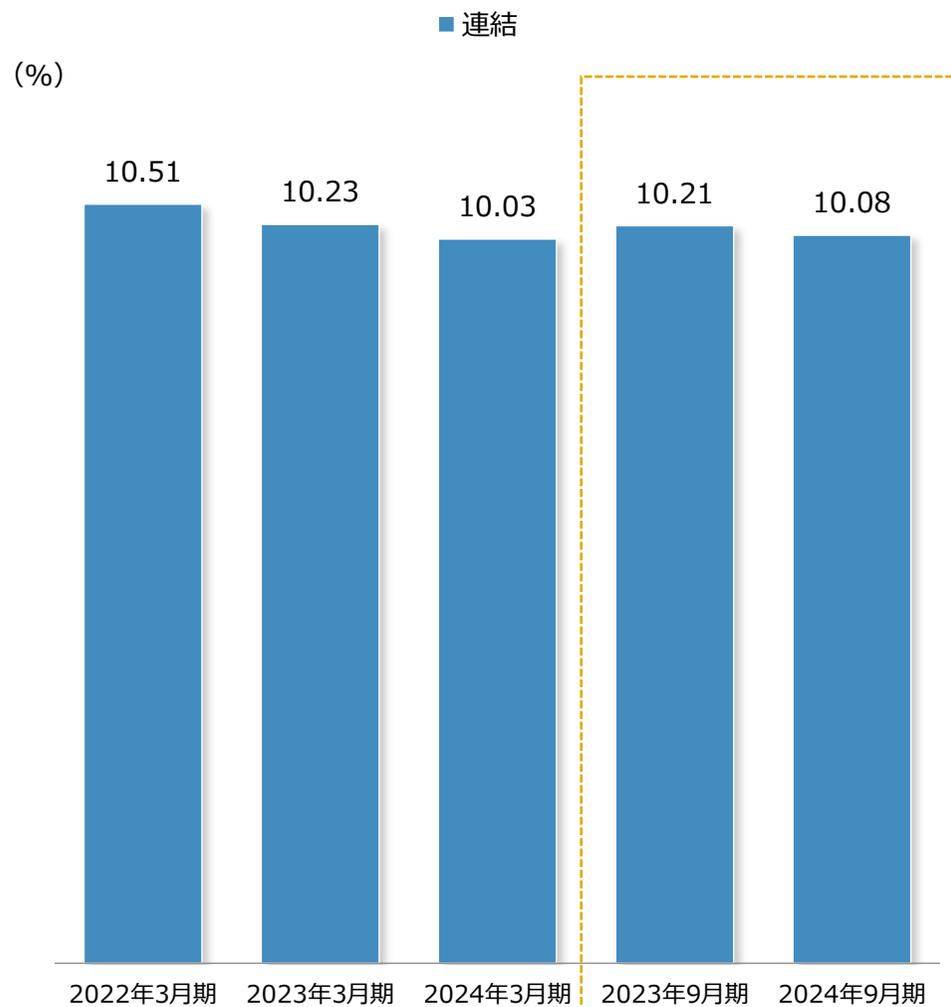
リスク量 = (VaR - 評価損益) 但し ≥ 0

● オペレーショナル・リスク

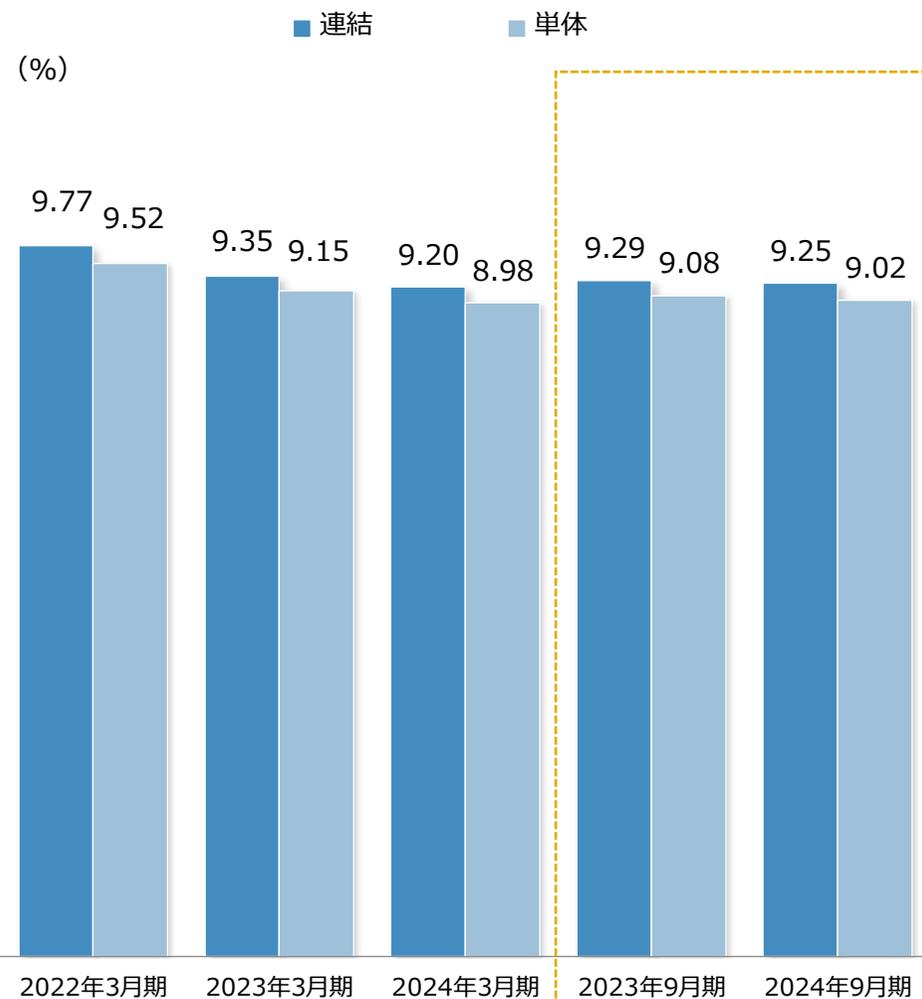
□ 粗利益配分手法

自己資本比率

FG連結



第四北越銀行



行内研修・トレーニー・プログラム/プロジェクト・外部派遣					
対象階層	初級行員 (初任者)	中級行員 (中級者)	上級行員 (監督職) (上級者)	上級行員 (管理職) (専門職等)	シニア層
ヒューマンスキル	モチベーション メンバーシップ	新入行員導入 若手行員年次	新任中堅		
	マネジメント		新任代理・調査役	経営幹部候補者育成 R 女性経営幹部候補者育成 支店長・管理職マネジメント 慶応ビジネススクール等	
	キャリアデザイン		中堅キャリアデザイン	ミドルキャリア	R キャリアデザイン
	ダイバーシティ	DE&I、アンコンシャス・バイアス			
	コミュニケーション・課題解決力	2030プロジェクト			
	グループ総合力発揮	グループ会社トレーニー 証券・人材紹介・地域商社・カード・IT等			
(銀行業務遂行)スキル	法人 コンサルティング	R 法人営業基礎			
		R 法人オーナー (初級)			
		R 法人営業 (事業性評価・サステナビリティ)			
		R デリバティブ			
		R 事業保険マスター			
	R 融資基礎研修				
	R 法人コンサルティングリーダー				
	R 法人マスタープラン (外)メガバンク、証券会社、外部企業等派遣				
	R (外)地銀協等外部研修				
	R サステナビリティ				
個人 コンサルティング	R 渉外スターター				
	R 資産運用アドバイス (外)地銀協講座,TSUBASA行派遣トレーニー等				
審査	R 融資初任者				
	R 経営改善支援				
事務・業務	R 審査部トレーニー (短期)		R 審査部トレーニー (長期)		
	各種事務基本		事務レベルアップ	業務役席	
リスクマネジメント コンプライアンス			監査部トレーニー		
			支店管理者養成		
R 部店内コンプライアンス					

主なリスキングプログラム

サステナビリティ
カンファレンス

オンライン講座
(ビジネスブレイクスルー)

FP1級

中小企業診断士

証券アナリスト

ITパスポート取得者向け
外部講座

ITコーディネーター

etc.

<研修プログラム毎の受講人数>

※ 図中の個別研修プログラムは、以下の受講規模により色分けし表記

受講規模 全職員

受講規模 100人以上

受講規模 10人以上

受講規模 10人未満

R 男女問わず
リスキングを想定したメニュー

R 主に女性のリスキングを
想定したメニュー

(外) 外部派遣

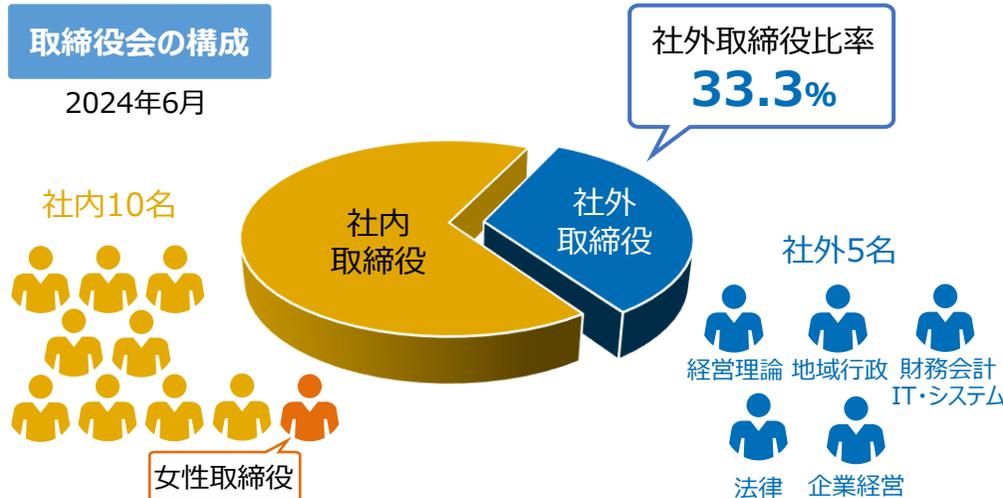
持続的成長を支えるガバナンス体制

取締役会におけるガバナンス体制

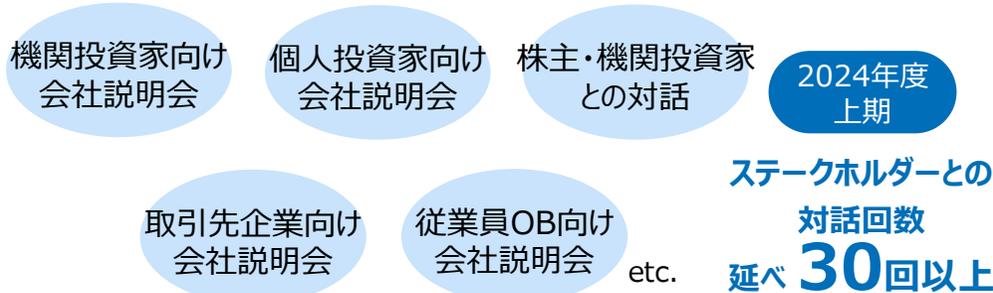
社外取締役の構成割合

取締役会の構成

2024年6月



企業価値向上に向けたステークホルダーとの対話



多様性の確保・ダイバーシティの取り組み

▲研修の様子

女性取締役育成プログラム (2021年度～)

女性活躍推進プログラム (2021年度～)

女性幹部候補育成に向けた「TSUBASAクロスメンター制度」(2022年度～)

女性役員
更なる登用へ

部長・支店長への登用

TSUBASA ALLIANCE

女性の経営・管理職の登用状況 (2024年9月末時点)

FG	第四北越FG 初となる女性取締役が就任 (2024年6月)
銀行部門	女性の取締役：1名 (上記FG役員が兼務) 同 部長：2名 同 支店長：18名 (うち1名は上記FG役員が兼務)
グループ会社部門	女性の代表取締役社長：1名 第四北越キャリアブリッジ 同 執行役員：1名 第四北越証券

第四北越銀行
キャリア採用比率 **20.2%** (2023年度)
→ 2022年度比 **+7.3%**

第四北越証券
→ 社長は大手証券会社出身

政策保有株式の縮減に向けた取り組み

政策保有株式の縮減

政策保有株式の縮減目標

→ 第四北越銀行が合併により誕生した
2020年度（2021年3月末）からの縮減額

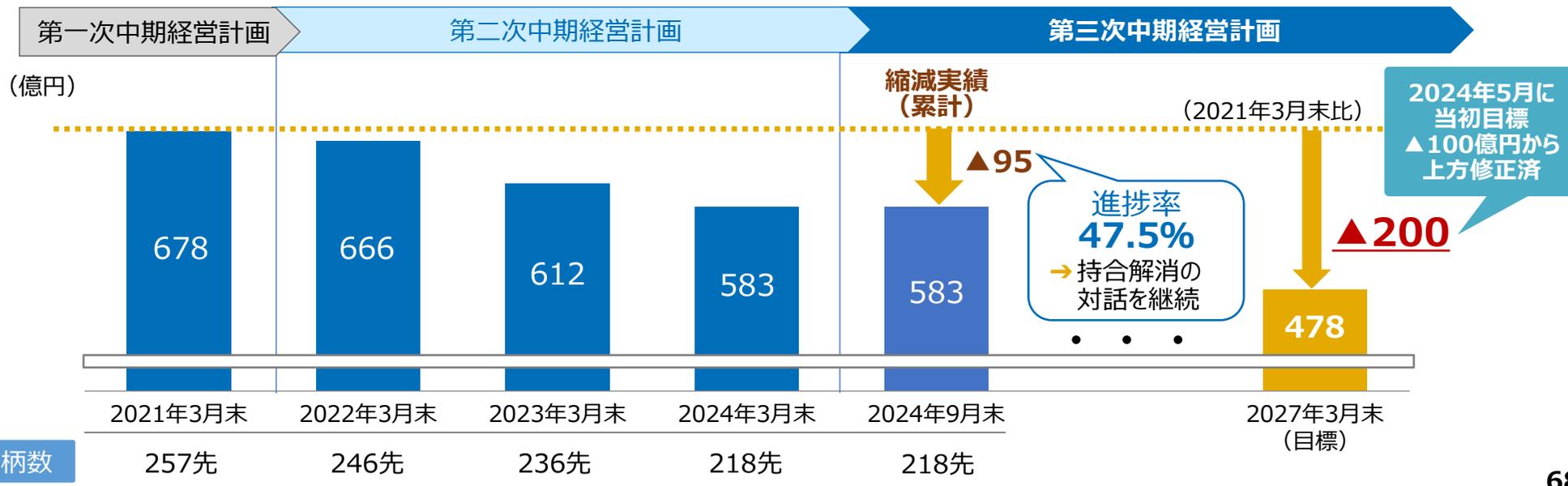
第三次中期経営計画の最終年度（2027年3月末）迄に

▲200億円（簿価）縮減
（第四北越銀行が保有する政策保有株式（簿価））

＜参考＞ 政策保有株式に関する方針

- 当社および第四北越銀行は、政策保有株式については、取引先および当社グループの中長期的な企業価値の維持・向上に資すると判断される場合において、限定的に保有し、株式保有リスクの抑制や資本の効率性等の観点から、取引先企業との十分な対話を経たうえで、政策保有株式の縮減を進める。
- 個別の政策保有株式については、「政策保有株式の保有に係る基本方針等」を定め、リターンおよびリスクを踏まえた中長期的な経済合理性や、取引先の成長性、将来性、もしくは再生等の観点、取引先と地域経済との関連性の観点および業務提携等の事業戦略上の観点から定期的に取り締役に於て検証し、保有の適否を総合的に判断する。

第四北越銀行が保有する政策保有株式の簿価の推移



グループ各社の状況①



※2024年9月末現在

グループ各社の状況②

(百万円)

会社名	主要な事業の内容	資本金	売上高 (経常収益)			経常利益			当期純利益		
			2023年 3月期	2024年 3月期	2024年 9月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2024年 9月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2024年 9月期
(株)第四北越銀行	銀行業	32,776	122,639	149,027	80,322	22,568	25,417	18,078	14,847	16,062	13,065
第四北越証券(株)	証券業	600	4,183	5,219	2,690	1,268	2,039	1,084	670	1,157	754
第四北越リース(株)	リース業	100	16,604	17,771	9,526	118	709	399	96	469	265
北越リース(株)	リース業	100	3,896	2,956	1,141	248	213	107	164	163	74
第四ジーシービーカード(株)	クレジットカード・ 信用保証業務	30	1,579	1,648	888	454	532	365	300	349	243
第四ディーシーカード(株)	クレジットカード業務	30	876	920	503	46	68	29	31	43	18
北越カード(株)	クレジットカード・ 信用保証業務	20	732	670	322	162	48	45	107	31	30
(株)第四北越ITソリューションズ	システム関連業務	100	3,177	3,260	1,210	240	188	△ 126	152	109	△ 83
第四北越リサーチ & コンサルティング(株)	コンサルティング業務、経済・社 会に関する調査研究・情報提 供業務	30	389	416	245	25	53	59	16	34	39
第四北越キャピタル パートナーズ(株)	ファンドの組成・運営に関する 業務	20	35	55	30	4	15	8	3	10	5
第四北越キャリアブリッジ(株)	人材紹介業、企業の人材に 関するコンサルティング業務	30	199	239	111	67	62	25	51	43	16
(株)ブリッジにいがた	販路開拓事業・観光振興事 業・生産性向上事業	70	248	292	164	10	15	1	8	10	0
第四信用保証(株)	信用保証業務	50	1,843	1,906	970	1,538	1,203	328	1,011	791	216
北越信用保証(株)	信用保証業務	210	655	594	228	588	533	136	421	384	87



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

**第四北越フィナンシャルグループ
経営企画部**

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。